

令和元年度
事業報告

自 平成31年4月1日 至 令和2年3月31日

社会福祉法人 酒田市社会福祉協議会

令和元年度 事業報告

はじめに

今、地域社会を取り巻く環境は、少子・高齢化の進行や人口減少、過疎化、家庭や地域での支え合い機能の弱まりなどを背景として、貧困や虐待、ひきこもり、孤独（孤立）死、自殺など、地域のなかでの孤立を起因としたさまざまな生活問題（課題）が深刻化しています。

私たちが暮らす酒田市でも、高齢化率は上昇の一途をたどり令和2年3月末で35.7%となっています。高齢化の大きな問題の一つに、高齢者だけで生活する世帯が増えていることがあります。民生児童委員の福祉ニーズ調査結果によれば、本市では、約8千7百世帯が高齢者だけで生活しています。これに過疎化や孤立化の問題が加わると、通院や買い物、日常生活のちょっとしたことに支障を来す高齢者の増加が心配になります。生命や財産に関する権利擁護もいっそう大きな課題になってきます。また、高齢者を支える現役世代の負担もこれからさらに大きくなることが予想されます。

令和2年2月頃から新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、世界的に社会・経済状況が極めて厳しくなっています。この状況が長く続くことで、貧困や虐待、日常生活支援等、生活問題（課題）がますます深刻化することが懸念されます。

これらを解決するためには制度的なサービスだけでは限界があることから、地域事情に合った地域の支え合いが重要となってきました。

酒田市社会福祉協議会（以下「市社協」という。）は、このような状況認識のもと、平成28年度を計画実施の初年度とする第3期地域福祉活動計画（平成28年度から令和2年度までの5年間の計画）を踏まえながら、

- ①公的な性格を持つ民間福祉団体として、行政や地域住民、団体、事業者等の活動をつなぐ。
 - ②自らも具体的な活動を提唱し、実践する。
 - ③地域包括支援センターや介護サービス事業と連携し、地域福祉を推進する。
- ことを基本として、市社協の強みを活かしながら、地域福祉事業や介護サービス事業の展開、適切な法人運営に取り組んできました。

特に、令和元年度は、

- (1) 市民による支え合い活動の推進
- (2) 高齢者、障がい者等の権利擁護
- (3) 低所得者への支援
- (4) ボランティア等市民活動の振興と支援
- (5) 災害対策の実施
- (6) 相談事業の推進
- (7) 介護及び障がい福祉サービス事業の推進
- (8) 広報活動、顕彰、慰霊事業の実施

(9) 適正な法人運営と施設管理等の推進
を重点に事業を行ってきました。

一連の市社協事業を実施するにあたっては、市はもとより、学区・地区社協、自治会、コミュニティ振興会、民生児童委員、福祉協力員の皆様、関係機関・団体・事業所の皆様から多くのご協力を賜りました。ここに改めて感謝を申し上げつつ、以下、令和元年度事業をご報告いたします。

1 市民による支え合い活動の推進

新・草の根事業の推進

* 市社協の基本組織であり事業活動の基本単位である学区・地区社協とともに、以下の6つの事業に取り組みました。

- | | |
|--------------|----------------|
| ◆学区・地区社協運営事業 | ◆見守りネットワーク支援事業 |
| ◆合同研修事業 | ◆ふれあい給食事業 |
| ◆地域あんしん事業 | ◆地域交流サロン事業 |

- * ふれあい給食事業については、補助単価を100円引上げ一食400円とし、補食給食についても新たに補助対象（一食100円）としました。
- * 新・草の根事業の包括的な見直しについては、事業の実施方法や担い手が地域で異なっていることから、統一的な実施方法を検討・提起することができませんでした。
- * 見守りネットワーク支援事業と災害時要援護者支援台帳との一元化について、市との協議を続けています。
- * 2年間の任期である福祉協力員の改選の年であったことから、主に新任の福祉協力員を対象として、地域における見守り活動での「気づき」をテーマにした研修会を実施しました。
- * 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、2月26日に「ふれあい給食事業」及び「地域交流サロン事業」について、中止、自粛等の要請を行いました。

新たな地域支え合い活動の仕組みづくり

- * 松陵学区では、新たな居場所づくり、見守りの場としての「松陵いこいの場」（コミュニティカフェ等）を開催しました。サポーター会議への出席等運営支援を行いました。
- * 琢成学区では、地域支え合いによる生活支援「よろずや琢成」が本市唯一の介護予防・日常生活支援総合事業訪問型サービスBの実施団体として、市内外から注目を集めており、視察や講演等の依頼が増えており、その支援などを行っ

ています。

- * 介護予防・日常生活支援総合事業では、生活支援等に対して地域が主体的に協議を行う会議体の設置を前提としていることから、市福祉課や市介護保険課と打ち合わせを行い、市まちづくり推進課も含め、現状の共有化に努めました。

新たな地域課題への対応

①自殺予防に対する支援・協力

- * 市健康課が実施する「こころの健康相談」、「こころのサポーター養成講座」等の開催周知等に協力しました。
- * 「生活自立支援センターさかた」では、引き続き、生活困窮者自立支援相談の一環として自殺予防の視点も取り入れ、生きづらさを感じている方々に対する相談や自立支援に取り組みました。

②悪質商法被害防止に対する支援・協力

- * 警察や消費生活センターが開催する悪質商法に関する研修会の周知活動に協力しました。

③ひきこもり等社会的に孤立している方への支援・協力

- * 「生活自立支援センターさかた」では、引き続き、生活困窮者自立支援相談の一環として、孤立した方々が広く参加できる居場所づくりや相談などを行っている関係機関・団体と連携し、相談や自立支援に取り組みました。
- * 地域福祉センターを会場に自立に向けた出口支援、社会との接点を持つことができる居場所の提供として「折り紙 脳トレ教室」を開催しました。

④更生保護、刑余者等への支援・協力

- * 市社協は、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、犯罪のない地域社会を築く運動である「社会を明るくする運動」の酒田市推進委員会のメンバーであり、この運動の強調月間である7月には、啓発看板を地域福祉センター駐車場に掲示するなど本運動の推進に協力しました。
- * 「生活自立支援センターさかた」や福祉サービス利用援助事業では、司法機関等からの協力要請を受け、検察庁や県地域生活定着支援センター等と連携し、特に高齢や障がいのある刑余者等の社会復帰支援や福祉的支援に取り組みました。

⑤その他、地域の様々な生活課題に対する支援・協力

- * いわゆる「ゴミ屋敷」、「ネコ屋敷」など、様々な理由から住居の衛生環境が悪化し、高齢などの理由により自身で片付けなどの解決を図ることができないという相談には、県衛生行政・関係機関や動物支援団体へのつなぎの他、場合によっては、片付けや引っ越しなどを職員が協力して行いました。
- * 特に「ネコ屋敷」、多頭飼育に関する問題については、県主催研修会（2月14日「動物愛護推進研修会～犬猫の多頭飼育問題を考える～」）に職員が参加し、解決へのアプローチ事例などを学ぶとともに、情報収集に努めました。
- * その他、市社協に寄せられる制度の狭間にある様々な生活課題等の相談に応じ、

それぞれのケースで関係機関・団体へのつなぎや連携をし、解決に向けて支援しました。

地域福祉活動の担い手確保の促進

- * 手話奉仕員養成講座や高齢者疑似体験事業、夏のボランティア体験事業を行い、福祉教育や福祉の担い手育成に取り組みました。
- * 退職年代の地域デビューを促す目的で「極める男のためのセカンドライフ講座」を全6回の連続講座として開催しました。

市社協ならではの制度外サービスの展開

- * 市社協が実施する社会福祉法人の「地域における公益的な取り組み」の一環として、困窮者に対するフードバンク事業、日和山公園桜まつりでの車いすの貸し出しなどについて、民間事業者やボランティア団体と協力し、継続実施しました。
- * 買い物支援等を目的として、地域福祉センターを会場に市内の障がい者就労事業所より協力をいただき、弁当やお菓子などを販売する「満福市にいだ」を開始しました。
- * 認知症などにより、生活環境を適切に管理できない方の自宅の片づけなどについて、市や地域包括支援センターとともに取り組みました。

市社協ならではの子育て支援

- * 育児の不安解消を目的として、子どもたちの交流の場づくりを中心に活動を行っている地域の子育て応援団や世代間交流を通して、人への思いやりや優しい心を育てる事業を展開している法人保育所等に対し、共同募金の助成を行いました。
- * 子ども食堂など地域での子どもの居場所づくりを通して、困難を抱える子どもの支援につなげることを目的とした県社協主催の「地域コーディネーター養成研修」などを積極的に受講し、子育て支援の活動を行っている団体との関係構築に努めました。
- * ひとり親家庭や低所得世帯の子ども等に対する教育支援、孤食になりがちな子どもたちへの食事を提供する子ども食堂などのPR活動に対し、支援・協力を行いました。

赤い羽根共同募金及び歳末たすけあい募金運動の推進

- * 令和元年度は、自治会、民生児童委員、法人保育園やボランティア関係団体など多くの皆さまからご協力をいただき、積極的に募金活動に取り組みました。

- * イベント募金として、クリスマス応援コンサートや色紙・らくやき展を実施したほか、平田ボランティア祭り・松山秋祭り・イオン周年祭・本間病院健康祭りなどのイベントにも他団体と協力して参加し、募金活動を行いました。市のマスコットキャラクター「もしえのん」「あののん」のオリジナル缶バッジを作成し、募金していただいた方に缶バッジを差し上げるなど、酒田らしい募金活動も行いました。
- * 市役所前で行った街頭募金オープニングセレモニーでは、泉保育園のご協力をいただき、園児による鼓隊とカラーガードで募金活動を盛り上げていただきました。
- * 募金箱の設置個所については、国・県・市の公共施設や福祉施設のほか、市内スーパーマーケットなど新規3か所に協力をいただいたほか、職域募金や法人募金については16件の新規開拓を行いました。
- * 昨年から行っているハーバーラジオの番組「社協ほのぼのタイム」で、2回に渡って共同募金・歳末たすけあい募金の歴史やしくみ、使途などを説明し、募金を呼びかけました。
- * 目標に対する達成率は、一般募金 99.3%、歳末たすけあい募金 98.4%で、一般募金・歳末たすけあい募金ともに、わずかに目標達成には至りませんでした。ご協力いただいた大勢の皆様にご心より感謝を申し上げます。共同募金については、高齢者、障がい児・者、児童等の関係福祉団体に助成し、活動の費用として活用いただいたほか、市社協の広報活動や地域福祉推進事業として活用しました。
- * 歳末たすけあい募金については、民生児童委員の方々からご協力いただき、歳末激励金として、低所得世帯の方々とその子どもたちに助成しました。

赤十字活動への協力（日赤酒田市地区）

- * 平成18年度に「日本赤十字社山形県支部酒田市地区」の事務局を市から市社協に移管しております。令和元年度は、市等と連携しながら、次の事業を行いました。

- ◆ 日赤会費等の収納、寄付金の受入れ
- ◆ 救急講習の実施
- ◆ 災害用備品等の整備
- ◆ 義援金の受付
- ◆ 献血推進協議会、赤十字奉仕団、青少年赤十字加盟校への助成
- ◆ 青少年赤十字加盟校の登録拡大の取り組み
- ◆ 献血の実施
- ◆ 赤十字広報セットを活用した赤十字活動紹介

- * 令和元年度の会費等については、目標額 21,241 千円に対し、18,480 千円の納

入実績となりました。目標には達しませんでした。ご協力いただいた皆様方に改めて感謝申し上げます。

- * 今後とも事業内容やお金の使われ方等について、自治会、コミュニティ振興会に丁寧な説明を行い、日赤県支部とともに赤十字活動への理解を深めていきます。

2 高齢者、障がい者等の権利擁護

福祉サービス利用援助事業

- * 認知症や知的、精神の障がいなどで判断能力が不十分な方々の権利擁護の一環として、以下のサービスを行いました。

- ◆ 福祉や介護等の公的サービス、助け合いなどの私的サービスの利用
手続き相談、つなぎ
- ◆ 公共料金や生活費、サービス利用料等の日常的な金銭管理
- ◆ 預金通帳や土地権利書など重要書類の保管 など

- * 本事業は、県社協の委託事業であり、市社協は基幹的社会福祉協議会として専門員、支援員を配置しています。
- * 専門員、支援員は、利用者へのよりよいサービス提供を目指し、エリア会議の開催、県社協等が実施する研修会に参加し、資質向上に努めました。
- * 地域包括支援センターやケアマネージャーなどの関係機関から相談が増加したため、相談から契約へ直結する件数が増え、令和元年度末では利用者数が130件と5年前に比べ、2倍以上増加しています。
- * 今後も認知症高齢者の増加や家族関係の希薄化などにより、さらに利用者は増加していくものと見込まれることから、引き続き受任体制の強化を検討していきます。

法人による成年後見（法人後見）事業

- * 福祉サービス利用援助事業の利用者の判断能力の低下や家屋等財産管理の課題がある場合などで、市長が後見等開始を申立する事案が増加しています。
- * 令和元年度末で11名受任していますが、受任にあたっては、市社協に設置した受任検討委員会を開催して受任の可否を判断するとともに、後見業務の適正を期すため、成年後見事業業務審査委員会を組織しています。
- * 法人後見業務の内容は、以下のとおりです。福祉サービス利用援助事業と同様、認知症高齢者の増加などにより、本事業の利用は伸びてきておりますが、死亡により終了した方もおり、昨年度より1名減少しました。継続して受任体制の強化が課題となっています。

- ◆医療・介護・福祉など生活面における身上監護
- ◆預金や不動産などの財産管理
- ◆契約の締結・解除 など

成年後見利用促進にかかる支援・協力

- * 国は全市町村に対し、令和3年度末まで「成年後見センター」を設置するよう求めています。これは、成年後見制度を必要とする人が制度を利用できるよう地域連携ネットワーク体制を構築し、そのコーディネーターや事務局を担う中核機関となるものです。
- * 地域住民の成年後見制度の相談対応を行うとともに、県主催研修会（5月15日 成年後見制度利用促進研修会）や市主催情報交換会（9月25日 成年後見制度利用促進のための情報交換会）などに参加、情報収集に努めました。

3 低所得者への支援

生活困窮者自立支援事業

- * 引き続き、市と県（庄内町・遊佐町を管轄）から業務委託を受け、地域福祉センター内に「生活自立支援センターさかた」を設け、相談対応しました。
- * 各関係機関や公共施設等へ独自のパンフレットを配置し、各種会議等において制度説明の時間を設けていただき、「相談の入口づくり」として、本事業及び自立支援センターの周知に努めました。
- * 地域での何気ない会話の中で、相談に発展することも少なくないことから、手軽に持ち歩くことができる名刺版チラシを作成し、関係機関等へ配布し、活用されるようお願いしました。
- * 年間の新規相談者実数は、酒田市216名、庄内町21名、遊佐町が11名、合計248名（前年度比22名増）でした。
- * 新規、継続を合わせた延べ相談対応は、酒田市・庄内町・遊佐町合わせて、1,827件（前年度比746件増）でした。相談方法は、電話670件、来所面談566件、訪問498件、同行78件、メール15件でした。
- * 相談内容については、「仕事探し、就職について」と「収入・生活費のこと」が多く、この2つで全体の半分近くを占めました。その他にも、「家賃やローンの支払いのこと」、「税金や公共料金等の支払いについて」、「債務について」、「病気や健康、障がいのこと」、「家族との関係について」等、幅広い内容の相談が寄せられました。
- * 相談者との面談は、傾聴に努め、課題分析を行い、個別の状況に配慮し、課題解決のための支援プランを相談者と協力して策定しました。支援プランは支援

調整会議を開催し、支援に必要な関係機関から支援プランについて、適切なプランであるかをチェックいただくとともに、より有効な支援策について、協議しました。

- * この制度の特徴である就労支援員による就労支援活動の状況は、ハローワーク酒田等への同行支援、就労希望・相談対象者のスキルと求人のマッチング等、就労活動継続のために伴走型の支援に心がけました。令和元年度は酒田市52件、庄内町8件、遊佐町4件が就労に結びついています。
- * 緊急時の対応として、平成28年1月にコープ東北サンネット事業連合と無償食糧提供の協定を結び、食糧支援ができる体制を継続しています。また、「カーブス」、「和光食材(株)」、「(株)ト一屋」などからも、食糧や日用品の提供をいただいております。ご寄贈いただいた食糧等はフードバンクとして、緊急の支援が必要な方に提供しました。令和元年度のフードバンク提供件数は、酒田市121件、庄内町16件、遊佐町12件、合計147件（前年度比56件増）でした。
- * 新型コロナウイルス感染症の影響で、年度末にかけて相談件数は増加傾向となりました。

①職員体制

- ◆ 所長1名（兼務）、副所長1名（兼務）
- ◆ 主任相談支援員1名、相談支援員1名、就労支援員1名配置

②支援調整会議

- ◆ 行政、関係機関との支援調整会議の開催（19回）

③周知・広報

- ◆ 事業周知のため酒田市広報相談欄に掲載（毎月1日号）
- ◆ 酒田市社協会報ふれあいに周知記事掲載（年3回）
- ◆ パンフレット及び名刺版チラシの作成と関係機関への配置
- ◆ ホームページへの掲載
- ◆ 単位民協、学区・地区社協、関係機関において制度説明実施

生活福祉資金貸付事業

- * 本事業は、県社協からの委託を受けて実施しており、県社協や民生児童委員と連携して進めています。
- * 引き続き、生活困窮者自立支援事業と事業間連携を行いました。また、福祉サービス利用援助事業と連携した貸付申請ケースや市福祉課（生活保護担当）からの情報提供により、貸付利用に繋がったケースが複数件ありました。利用申込件数42件、貸付決定件数33件となっており、資金種別としては緊急小口と教育支援資金が依然多い傾向にあります。
- * 生活福祉資金の償還指導にあたっては、引き続き、家庭訪問や電話等で生活の

状況把握に努め、一人ひとりの状況に応じた適切な対応を心掛けました。償還滞納ケースの中には、面談を通して、滞納解消に向けての課題を整理することができたケースもありました。中には、「借受人が教育支援資金の借り入れ中に学校を中退し、引きこもり状態にある」等の単なる償還指導にとどまらず、他機関と連携した中長期的な支援が必要なケースもありました。

- * 令和元年度末ごろから、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、生活福祉資金（特例貸付）の借入申込相談が増加しています。

たすけあい資金貸付事業

- * 市福祉課との連携のもと、生活保護受給者及び生活保護申請受理見込者で緊急かつ不時の出費を要する世帯に対し、資金の貸付を行いました。
- * 償還については、市福祉課による適切な指導を要請し、償還が滞ることのないよう常に実態調査に努めました。
- * 「生活困窮世帯」に対する貸付では、「生活自立支援センターさかた」の支援を受けることを条件に貸付けを行いました。令和元年度の貸付件数92件のうち生活困窮世帯への貸付は41件でした。
- * 「生活困窮世帯」に対する償還については、移動手段が乏しい方に対して振り込みによる償還を促したり、訪問による集金などの対応を行いました。

4 ボランティア等市民活動の振興と支援

ボランティア等市民による公益活動の推進

【ボランティア・公益活動センター運営事業】

- * 市社協が設置していた「酒田市ボランティアセンター」と市が設置していた「酒田市公益活動支援センター」を平成30年4月に統合し、統合後の名称を「酒田市ボランティア・公益活動センター」（以下「ボランティア・公益活動センター」という。）としました。
- * ボランティア・公益活動センターは、市が交流ひろばに設置し、市社協がその業務を受託することで、これまで酒田市ボランティアセンターがやってきたボランティアをやりたい人と協力してほしい人とをつなぐ、中間支援の役割にとどまらず、ボランティアや市民活動団体の活動をはじめとする公益活動を創出する役割も担っています。

【具体的事業】

①統合記念事業

- * より多くの皆さまからボランティア・公益活動センターに親しみを持っていただくため、その特徴を生かした愛称を10月1日～31日にかけて募集し、全国各地から200件以上もの応募をいただきました。1次審査会、ボランティア・公益活動センター登録団体及び個人による人気投票、ボランティア・公益

活動推進委員会による2次審査会の選考を経て、「ボラポートさかた」に決定しました。

② ボランティア・公益活動の普及、啓発、人材育成、交流等

- * ボランティア・市民活動の裾野拡大等を目的に、市民を対象にした6回目となる夏のボランティア体験事業を開催しました。
- * 一斉メールや通知に加え、窓口での直接の声掛けや高等学校等への積極的な声掛けを行った結果、過去最高の107名の参加となりました。
- * 「地域共創コーディネーター」養成研修を職員1名が受講しました。また、一体的に企画されている「ボランティアコーディネーション力3級検定」研修をボランティア・公益活動センターが開催するとともに、職員1名が受講し、ボランティア・公益活動振興を担う人材育成を図りました。
- * ボランティア・市民活動団体の利便性向上、コーディネーション力のさらなる強化を図ることを目的とし、8月24日に東根市公益文化施設『まなびあテラス』と山形市市民活動支援センターに視察研修を行いました。ボランティア・公益活動推進委員、ボランティア・公益活動センター登録団体の方々等、16名が参加し、ボランティア・市民活動を推進するためのサポートや環境づくり、団体間のコーディネーションのノウハウ等を学びました。
- * 活動資金のひとつである補助金等の活用や申請手続きを学ぶことで、市民活動団体やボランティアの活動のさらなるステップアップを図ることを目的に「補助金等の研修会」を「ボランティア・市民活動交流会」と同時開催しました。
- * 県社協等が主催する研修会に参加し、ボランティアに関する知識やスキルの向上に努めました。

③ ボランティア連絡協議会等他団体との連携事業

- * 庄内地方2市3町のボランティア連絡協議会（事務局は各市町社協、令和元年度は鶴岡市が当番社協）で構成する「庄内地域広げようボランティアの輪連絡会議」主催の‘ボランティアの集い 2019’に参加しました。研修会では、災害対応ゲーム「クロスロード」を行い、その後、2市3町のボランティア活動に関わる団体の活動紹介や情報交換をしながら交流を深めました。

④ 相談、活動のコーディネート

- * 窓口や電話等によるボランティア・市民活動に関する相談、紹介、マッチング等を行いました。
- * 活動者や団体、これから活動したい市民のつながりを作ることを目的にボランティア・市民活動交流会を開催しました。交流会で知り合った団体同士が一緒に行動したり、お互いの会員になるなどのつながりが生まれています。

⑤ 情報発信

- * ボランティア・市民活動に関する情報紙「酒田市ボランティア・公益活動センターだより」を9回（各回約1,000部）発行しました。
- * 配布・配置先は公的な機関・団体のみならず、広く一般市民が手に取りやすいように、コンビニや書店、商店などからも協力をいただき、257箇所へ配布、設置しました。

- * 令和元年度のボランティア・公益活動センター登録数は、137団体、1個人となりました。また、酒田市ボランティア・公益活動センターだより等でQRコードを使って登録を呼びかけ、情報メール希望者を増やすことができました。
- * ホームページでも随時情報を掲載するとともに、登録者や団体へは、メールやFAXに加え、より広い範囲への周知を目指して、SNS（フェイスブック等）を利用した情報発信を行いました。

⑥受託事業、独自事業

- * 市からの委託を受け、公益活動の取り組みを応援するための「公益活動支援補助金」の採択団体審査、市民を対象とした「手話教室」、市内の小中学校での「高齢者疑似体験事業」の運営、「元気シニアボランティア事業」の登録者管理等の業務を行いました。
- * 酒田市文化芸術推進プロジェクト会議、市主催第2回酒田市障がい者アート展「見て！カラフルな私の世界」を令和元年度63回酒田市民芸術祭参加事業の一環として、11月28日～12月1日の4日間開催し、11月27日の内覧会・ギャラリートークを含め、延べ789名からご来場いただきました。
- * 本事業にボランティア・公益活動センター職員も事務局として加わり、6月から関係事業所と検討を重ね、15団体・2個人より障がい者（身体、精神、知的）の作品を166点出展いただくとともに、展示作業、受付等のボランティア募集を行い、24名の方からご協力をいただきました。
- * 障がい者アート展最終日に行われた東京学芸大学特別支援学校の卒業生と支援者でつくる「若竹ミュージカル」による「屋根の上のバイオリン弾き」の公演では酒田特別支援学校の皆さんも出演しましたが、この公演についても支援、協力を行いました。
- * 日和山公園桜まつり開催時期間中に、酒田市ボランティア連絡協議会や登録団体、一般ボランティアの協力を得て、車いすの無料貸出しを行いました。身体障がい者や高齢者に配慮し、季節のイベントを楽しんでいただけるよう「思いやりでおもてなし」として、また、障害者差別解消法の実践として取り組みました。10日間（うち1日雨天のため中止）、各4時間（11時～15時）の活動を行い、38名の方から利用があり、感謝の言葉をいただきました。

【ボランティア活動保険加入手続き等】

- * 市社協（地域福祉センターと市社協各支部）と交流ひろば（ボランティア・公益活動センター）で加入手続きや保険に関する相談対応などを行いました。令和元年度は、ボランティア活動保険に6,816名が加入しました。

社会福祉法人等との協働による公益的取り組みの推進

- * 昨年度に引き続き、市社協が事務局となって、6月に第2回「酒田市社会福祉法人連絡会議」を開催し、市内社会福祉法人間での情報交換、今後の連携や協働を目指した協議を行いました。
- * 協議の結果、市内社会福祉法人の連携・協働による「地域における公益的な取

り組み」として、「ふくし出前講座・福祉共育出前講座」を実施することとなり、市内10法人が参加し、23講座を提供する準備を行いました(※)。なお、この出前講座の取組は県社協『令和元年度「地域における公益的な取組」法人協働モデル事業』の指定を受けました。

※新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、現時点(5月1日現在)で講座開始(公表・申込受付)に至っていません。

*その他、他法人との連携強化のため、他法人の取り組みの周知・情報発信への協力や新規社会福祉法人の立ち上げ支援などを行いました。

5 災害対策の実施

災害対策と被災地支援

【災害に備えたボランティア活動の展開】

①災害ボランティアセンター(災害VC)設置・運営訓練の実施

*市社協は、本市で災害が発生した場合、市の要請を受けてあるいは市社協の判断で災害ボランティアセンター(以下「災害VC」という。)を設置することになっています。そのため、地域福祉センターの防災訓練と併せて、災害VCの設置・運営訓練を実施しました。

*訓練にあたっては、ボランティアニーズの発生場所と見込まれる自治会連合会、ボランティア活動の協力者となるボランティア連絡協議会及び関係団体などの参加協力を得て実施しました。

*訓練は西日本豪雨災害時に災害VCに実際に寄せられた相談をカードにして、対応の振り分けを小グループに分かれて実施し、どのような機能を災害VCが持つのかについて理解を深めました。

*災害VCに関する研修会に参加し、知識や技能の習得に努めました。

②除雪ボランティア活動の展開

*日向地区において、地域支え合い活動の一環として、コミュニティ振興会、市、市社協が呼びかけ、ボランティアを募り、一斉除雪を行いました。今年度は降雪が少なかったため、一回だけの実施となりました。

【東日本大震災に伴う避難者支援と被災地支援活動への支援・協力】

①東日本大震災による本市避難者への支援の継続

*避難者生活支援相談員2名体制で、引き続き、相談員を中心に、避難者世帯の訪問、交流の場づくり、情報紙の発行、各種相談などを行いました。また、市や県、県社協、支援団体等との連携に努めました。

②災害被災地支援活動への支援・協力

(東日本大震災被災地への支援・協力)

*被災地支援活動を行っている「酒田ボラバスネットワーク」に対し、参加を呼びかけ、福祉バスの利用支援などを行いました。

*被災地の福祉作業所の缶バッチ等の製品販売を行い、復興応援に協力・支援を

継続しました。

*今年度の義援金の受付送付額は、611,459円でした。

(台風19号災害被災地への支援・協力)

*令和元年台風第19号の豪雨により、極めて広範囲にわたり、河川の氾濫やがけ崩れ等に襲われ、甚大な被害が宮城県や福島県など各地で発生しました。

*市社協では、市と災害支援協定がある宮城県大崎市の災害VCに職員を派遣、また、災害時相互支援協定に基づく県社協からの職員派遣依頼に応え、宮城県丸森町の災害VCにも職員派遣を実施しました。

*被災地でのボランティア活動を希望する市内の方を支援するため、10月27日から12月7日までの週末の7日間、ボランティアバスを運行しました。延べ110名の方が宮城県大崎市と丸森町の災害復旧・支援活動に参加しました。

6 相談事業の推進

窓口相談、心配ごと相談、地域あんしん相談

*地域福祉センター並びに各支部で、随時、窓口相談を行いました。

*心配ごと相談は、人権擁護委員に相談員をお願いし、毎月第1・第3・第5火曜日(9:00~12:00)に地域福祉センターで実施しました。

*令和元年度に心配ごと相談所に寄せられた相談件数は10件で、平成30年度より1件増加しました。

*新・草の根事業メニューの地域あんしん事業による相談については、それぞれの学区・地区社協の実情に応じて、各コミュニティセンター等で実施しました。

7 介護及び障がい福祉サービス事業の推進

*介護サービス事業及び障がい福祉サービス事業の実施にあたっては、地域福祉部門を有する社協ならではの特性を活かして、行政及び市社協内の部署の垣根を越えた協力・連携のもとに、生活困窮者などの地域課題解決を包括的に支援するという視点を持ちながら事業を実施しています。

*介護サービス事業は、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせる環境づくりという地域福祉推進の一環として事業を行っています。

*認知症について、訪問介護や通所介護でサービス提供を行う際やケアプランの作成等にあたって相談する際に、適切な説明を行うことにより、市民の理解を深め、認知症になっても安心して過ごせる地域づくりに努めています。

*利用者本位のよりよいサービスを提供するために、内部研修の実施や外部研修への積極的な参加などを通じて、職員の資質向上を図っています。

*市社協独自の活動を実施するためには、介護サービス事業における安定した収益の確保が不可欠です。介護報酬の引き下げ等の厳しい経営環境の下で、平成30年度は介護サービス事業全体として、赤字を計上することとなりましたが、原因を分析するとともに、収支の改善に向けた取り組みを実施し、令和元年度

は黒字の収支とすることができました。引き続き、安定した収益の確保に向けて経営の見直しを行っていかねばなりません。

居宅介護支援事業

- * 利用者の自立支援を第一に、利用者及び家族との十分な意思疎通を図りながら、ケアプランの作成から見直し、評価まで適切なケアマネジメントに努めています。
- * 市が開催する自立支援会議へ事例提供者として参加し、多職種との連携を図るとともに、自立支援型ケアマネジメントを学び、自己研鑽に努めています。
- * 専門職の視点を持ち、主治医やサービス提供事業所との連携を図り、ちょうかいネットを活用し、迅速に利用者の支援を行いました。
- * 飛島を担当する唯一の居宅介護支援事業所として、毎月渡航し、飛島在住の介護認定者に対して、ケアマネジメントを継続して行いました。
- * 質の高いケアマネジメントを実施できる事業所として評価を得られるよう定期的に研修を企画、実施するとともに、職員一人ひとりが自己評価表を作成し、専門職としての能力の向上に努めました。
- * 担当するケースの動向を記録し、新規ケース受け入れの可否を把握することにより、地域包括支援センターや行政、病院等の問い合わせに対し適切に対応し、新規ケースの確保に努めました。
- * 転送電話を活用し、夜間や営業日以外の緊急の要件に対して 24 時間対応しました。

障がい児・者相談支援事業

- * 特定相談支援事業者として障がい児・者の相談に応じ、サービス等利用計画の作成、モニタリング等の相談支援を行いました。
- * 障がい児相談支援の新規利用者開拓のため、酒田市自立支援協議会「児童部会」に積極的に参加し、情報の共有とPRに努めました。
- * 養護学校卒業後の進路について、行政・医療・保育・教育機関等との連携により、本人の意向を尊重し、寄り添った支援に取り組みました。
- * 精神障害者支援体制加算の取得に伴い、専門性、質ともに高い相談支援を提供できる体制整備を行いました。
- * 介護保険サービスとの連携を図り、障がいがあっても住み慣れた地域で生活を続けることができるよう支援を行いました。
- * 生活自立支援センターさかたや多職種との連携を図ることで、ひきこもり者の情報を共有し、包括的支援に努めました。
- * 酒田市視覚障害者福祉協会の要請を受けて、県内外の事業者と連携を図り、同行援護を希望する視覚障がい者への支援調整を行いました。引き続き、視覚障がい者の積極的な社会参加への支援に努めます。

- *共に働く共生社会を目指し、障がいがあっても働く意欲のある方に対して企業にトライアル雇用された人へのその後の就労定着支援に努めました。
- *相談支援部会や各種外部研修へ積極的に参加し、知識・技術の向上を図り、ケアマネジメントの資質向上に努めました。

訪問介護事業

- *事業実施にあたっては、利用者が自らの能力に応じて自立した日常生活を営むことができるよう個々の目標を踏まえた介護計画書を作成し、関係機関との連携を図りながら必要な支援を行っています。
- *毎月のヘルパー研修会の開催や外部研修への積極的な参加を通じて、介護知識及び技術の習得に努め、職員の資質向上を図りました。
- *受入れ事業所の少ない介護予防・日常生活支援総合事業A型（家事援助）と視覚障がい者の外出時の移動援助を行う同行援護サービスの新規受入れに努めました。
- *ヘルパー不足に対しては、退職者の再雇用や職員の紹介により、計4名のヘルパーを採用することができました。また、ヘルパーの確保に向けて、市内で開催された「福祉のしごと就職面談会」に参加しました。

通所介護事業（デイサービスセンターいずみ、デイサービスセンター松山）

【通所介護事業】

- *利用者の状態に合わせた食事や入浴等の日常生活上の支援を行うとともに、軽体操やレクリエーション等による心身機能の維持向上と孤立感の解消、家族の介護負担の軽減を図っています。
- *地元の食材を使ったバランスのとれた温かく美味しい食事の提供を当事業所の強みとして、利用者満足度の向上に努めました。
- *定期的な職員研修や外部研修等への参加を通じて、介護知識の習得と介護技術のレベルアップに努め、サービスの質の向上を図りました。
- *地域の保育園や小中学生等の訪問を始め、学生の実習、福祉団体やボランティアを積極的に受け入れ、地域との交流を深めています。

【認知症対応型通所介護事業】

- *「認知症になっても支えがあればその人らしく生活できる」の目標を掲げ、可能な限り在宅での生活が維持できるように、家族への支援も合わせながら、寄り添う介護を心掛けています。
- *職員研修を充実させ、質の向上を図り、日々の業務に活かすことができました。
- *認知症高齢者だけでなく、家族支援を踏まえて、可能な限り在宅での生活が維持できるよう支援を行いました。また、独居生活している方にも各所と連携を図り、在宅での生活を継続できるように支援しています。
- *職員体制の充実を図り、利用者に対し適切かつより良い対応を行うことができ

ました。

- * 利用者の家族や地域の自治会長、ボランティア、地域包括支援センター職員等で構成する「運営推進会議」を定期的で開催し、地域との連携を深めながら、事業運営の透明性の確保とサービスの質の確保を図っています。

地域包括支援センター（にいだ）

- * 市の委託事業である「総合相談」、「権利擁護」、「介護予防ケアマネジメント」、「包括的・継続的ケアマネジメント」への取り組みを通じて、担当生活圏域（浜田学区、若浜学区、飛島）の高齢者の状況把握と高齢者が抱えている生活・身体上の課題解決に努めています。
- * 要援護高齢者やその家族等の立場に立った相談を心掛け、必要な保健・福祉・介護サービスと権利擁護に関する支援を行いました。また、ゴミ屋敷や虐待などの地域課題の把握に努め、関係者との情報共有や連携を図りながら、包括的かつ継続的な対応に努めています。

【総合相談】

- * 「75歳到達者訪問」などから、支援を必要とする高齢者を早期に見つけて適切な支援を行うために、地域との情報交換の場を持つとともに、相談者や関係機関からの相談を幅広く受け付けて、介護予防の早期対応や適切な支援につなげました。

【権利擁護】

- * 高齢者に対する虐待を始め、8050問題など複数の問題を抱えているケースや生活困窮、成年後見、消費者被害、ゴミ屋敷等様々な相談に対して、行政などの関係機関と連携を取りながら、解決に向けた助言や支援を行いました。
- * 地域の集会等で高齢者の虐待防止についての講話を行い、普及啓発に努めました。
- * 不利益な立場におかれている人に対して、必要な制度の説明や申請手続き等の支援を行いました。

【介護予防ケアマネジメント】

- * 高齢者の介護予防と居場所づくりを目的に、平成30年度から担当地域において「いきいき百歳体操」の開催を支援しています。今年度は継続的な支援として、各会場へ専門職の派遣や情報交換会、研修会の開催を支援しました。今後はリーダー研修会も予定しています。

【包括的・継続的ケアマネジメント】

- * 地域包括ケアの推進について、三者合同会議、浜田学区ブロック会議、第2民協定例会議等、地域での福祉関係の会議へ参加しました。また、飛島地区と若浜学区では自治会単位で地域ケア会議を開催しました。
- * 医療・介護連携として、酒田地区医師会・歯科医師会との会議、研修に参加し、ちようかいネットを活用して情報共有を図っています。
- * 職員全員が持つ認知症キャラバンメイトの資格を活かし、認知症サポーター養

成講座を通じて、認知症に関する理解の促進を図りました。また、市が開催する認知症カフェに協力し、介護者同士の情報交換・交流支援を行いました。

- * 認知症になっても安心して過ごせる地域を目指して、「安心おかえり登録」、「さかた声かけ隊」の事業周知にも努め、本事業の登録を支援しました。
- * 認知症初期集中支援チームと協働し、ケース支援を行いました。
- * 第2層生活支援コーディネーター業務を市より受託し、市とともに担い手養成講座の開催、また担当圏域の各団体に対して、通いの場、生活支援について説明の機会を持ち、検討したことで、若浜学区では令和元年度より介護予防・日常生活支援総合事業通所型サービスBの開催につながりました。また、サロンの立ち上げ支援を行い、交流の場づくりにも力を入れました。
- * 引き続き、地域資源を結ぶネットワークの構築に取り組みながら、地域課題や個人が抱えている問題の把握に努め、さまざまなアプローチを検討し、課題の解決に努めていきます。

8 広報活動、顕彰、慰霊事業の実施

広報活動

【会報ふれあい】

- * 会報「ふれあい」を3回発行しました。
- * 内容は、市社協事業や運営状況、地域福祉に関する情報、学区・地区社協の取り組み、赤い羽根共同募金事業の実施状況等を掲載し、情報の共有に努め、写真やイラストを多く使って、見やすい会報を心がけました。
- * 会報編集委員会を設け、見る立場からの意見をいただきながら、より多くの方に見ていただけるよう工夫に努めました。
- * より多くの方に興味を持っていただくきっかけとなるよう、昨年度に続き、市内の中学生の作品を表紙の題字「ふれあい」に使用しました。
- * 視覚障がい者のための音訳活動をしているグループ「声の広報」にご協力いただき、必要な方にCD等による会報を届けていただきました。

【その他の広報活動】

- * 「酒田市ボランティア・公益活動センターだより」を9回発行しました。
(再掲)
- * 広報紙以外にも、リーフレット、ホームページ、SNS（フェイスブック、ツイッター）等を利用し、情報が幅広く周知されるよう努めました。
- * 酒田エフエム放送株式会社の協力により、ラジオ番組「社協ほのぼのタイム」を放送し、毎月市社協の活動や事業などについて広く紹介しました。

顕彰事業

- * 11月21日（木）、市地域福祉センターを会場に、市主催の前田福祉賞表彰

式と合わせて市社協表彰式を開催しました。

- * 市社協表彰は、長年地域福祉活動に尽力され、顕著な功績をあげられた方を対象とするもので、令和元年度は、自治会長、民生児童委員、遺族会、障がい者福祉団体、学区・地区社協福祉協力員、ボランティア活動を続けてこられた方々48名を表彰しました。
- * 感謝状については、長年ふれあい給食調理ボランティアとして活動された5名の方と社会福祉協議会の事業に協力・援助いただいた1組に対し、贈呈しました。
- * 11月13日（水）荘銀タクト鶴岡を会場に第69回山形県・県民福祉大会が開催され、市関係者では、県知事表彰を11名、大会会長表彰を11名、1団体、大会会長感謝状を2団体が、それぞれ受賞しました。

酒田市戦没者追悼式（平和祈念のつどい）の開催

- * 7月3日（水）地域福祉センターを会場に、各遺族会のご協力をいただいて酒田市戦没者追悼式を開催し、戦没者の慰霊と恒久平和を祈念しました。

9年目のキャンドルナイト（東日本大震災追悼の集い事業）について（中止）

- * 東日本大震災で亡くなられた方々への慰霊と復興祈願を目的として、市と共催で開催してきた東日本大震災追悼の集い事業については、昨年度より、生涯学習施設「里仁館」や東北公益文科大学主催のキャンドルナイトと一緒に実施しています。
- * 令和元年度は、当日点灯するキャンドル作りワークショップと絵灯ろうの絵を描く会を同時に開催するなど、協働で準備を進めてきました。
- * 3月11日に中町にぎわい健康プラザで開催を予定していましたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、中止となりました。
- * これに代わり、生涯学習施設「里仁館」、東北公益文科大学、市社協の有志が地域福祉センター駐車場で、紙コップキャンドル、絵灯ろうを灯し、黙とうを捧げました。

9 適正な法人運営と施設管理等の推進

法人運営全体

- * 社会福祉法の改正による社会福祉法人制度の見直しについては、社協自らも社会福祉法に規定されている公的な性格を持つ民間福祉団体（社会福祉法人）であり、組織のガバナンスの強化や事業運営の透明性の確保など一層の自覚を持った組織運営の強化に努めています。なお、令和元年度市社協事業報告・資金収支決算については、理事会及び評議員会の承認を得られ次第、速やかにホー

ムページで公表します。

- * 事業所安全衛生委員会を定期的に開催し、産業医の助言を受けながら、職員の健診受診促進とその後のフォロー、インフルエンザ予防接種補助、職員のストレスチェック、職場巡視とその結果を踏まえた環境改善など、労働安全衛生に関する必要な措置を講じました。さらに、令和元年度は、ピロリ菌の原因による慢性胃炎検査の推奨に努めました。
- * また、職員研修を兼ね、新規採用職員研修会やAEDの操作講習、交通安全講話を実施したほか、自己研修に対する助成や専門職種研修への職員派遣、ケース検討会等の内部研修、日常業務のなかでの職員の指導育成等を行い、接遇も含めた職員の資質向上を図りました。

地域福祉センターと八幡やまゆり荘の管理・運営

- * 地域福祉センターの管理・運営は、市からの受託事業として取り組んでおり、必要な修繕を行いながら、福祉関係者・入居団体をはじめとする多様な福祉活動、市民活動に利用していただきました。
- * 令和元年度は、防災受信機関連機器の更新を行いました。
- * 地域福祉センターの令和元年度の貸館利用数は、984件（前年度比399件増）、13,959人（前年度比4,321人増）でした。
- * 市社協では、団体・事業所等から寄贈された車いすを活用し、貸出事業を行っています。地域福祉センターでは、令和元年度は延べ117台の貸出を行い、一時外出や通院などに利用いただきました。
- * やまゆり荘は、市社協直営施設として管理・運営を行っており、令和元年度は、誘導灯の交換工事、機械室給水加圧ポンプなどの施設修繕を行いました。
- * やまゆり荘の令和元年度の貸館利用数は、153件（前年度比58件増）、794人（前年度比15人減）でした。

福祉バス・日赤福祉バス・やまゆり号の運行

- * 福祉団体、福祉関連団体の学習・研修活動、福祉活動等に利用していただくことを通して本市の福祉向上を図ることを目的として、市からの委託を受けて（やまゆり号は市社協所有）運行しています。
- * 令和元年度は、3台合わせて延べ302回、6,686人の利用がありました。平成30年度と比べて、運行回数、利用人数ともに減少しています。

市社協所有山林及び新たに整備した駐車場の市移管協議

- * 八幡地区にある市社協所有の山林（昭和63年寄贈）について、山林の適正管理・保全能力等の観点から、市への移管が継続案件となっています。
- * 平成23～24年度にかけて整備した地域福祉センター駐車場の市への移管

と合わせ、協議を継続します。

財源の確保及び基金の有効活用

- * 社協会費並びに共同募金による財源は、貴重な自主財源として組織運営及び地域福祉事業の一部に充当されており、市民や法人事業所等の方々のご理解・ご協力が不可欠です。そのため、自治会長研修や学区・地区社協研修、市社協会報及びリーフレット等を通じて市社協の事業内容や経営状況を市民にお知らせし、社協会費や共同募金の使途を明らかにしました。
- * 基金の有効活用については、社会福祉法人制度改革に伴う社会福祉法改正を受けて、すべての社会福祉法人に対して公益的な取り組みをすることで地域に貢献すべきことが義務づけられました。そのため、市社協として実施する財源として地域福祉基金の活用を引き続き検討します。

八幡・松山・平田支部運営

- * 各支部には正職員1名、地域福祉専門員1名、事務員1名の計3名を配置しましたが、12月に正職員の退職に伴い、1月より1名欠員が生じたため、松山支部職員が平田支部を兼務し、各支部・地区社協の地域福祉活動の取組みや地域特性を活かした活動を展開しました。
- * 八幡支部では、管内の要支援介護認定を受けていない高齢者を対象に憩いの場づくりとして、おおむね毎月3回（地区ごとには月1回）生きがい活動支援通所事業（八幡ミニデイサービス）を開催しました。
- * 松山支部では、市総合支所、地域包括支援センターまつやま、関係団体と連携を深め、毎月実施している「松山いきいきくらぶ」に合わせ、小規模作業所の商品販売会を開催し、作業所の支援を行いました。また、中高年男性の仲間づくりや地域の担い手づくりとして「おとこかれーくらぶ」を継続して開催しました。
- * 平田支部では、地域包括支援センターひらたと合同で、一人暮らし高齢者世帯等を訪問し、現在の困りごと、生活状況や健康状態等を把握し、必要な福祉サービスの情報提供や市関係課へのつなぎを行いました。
- * 平田地区社協連絡会を開催し、新・草の根事業の取組みや各地区の事業実施状況の情報交換を行い、連携を深めました。
- * 八幡・松山・平田の3支部の共通事項として、福祉サービス利用援助事業や地域支え合いなどの業務が拡大するなか、限られた人員で本部・支部がより効率的・効果的に事業を運営するために、支部職員の業務分担を明確にして、地域福祉課職員が一体となり、情報共有しながら事業に取り組みました。

市社協機関会議等の開催と関係会議への出席等

- * 理事会、評議員会のほか、総務財政部会、地域福祉・ボランティア部会、介護保険部会、共同募金部会の4専門部会を開催し、市社協の方針等について意思決定を行いました。
- * 日頃からお世話になっている自治会長（支部では福祉推進員）、コミュニティ振興会長等を対象にした研修会・説明会を旧市街地、旧市公民館地区、支部ごとに開催し、市社協の事業説明とともに市社協会費、共同募金、日赤会費等の集約について協力をお願いしました。
- * 市自治会連合会（自治連）と共催で開催している旧市街地の新自治会長研修会では、市社協事業の概要と新・草の根事業の主要事業である見守りネットワーク支援事業について説明しました。
- * このほか、学区・地区社協の諸会議等へ職員が積極的に参加するとともに、市をはじめとする関係団体の会議へも随時参加しました。さらに、学生実習の受け入れや講演等の要請に対しても積極的に対応しました。

むすびに

以上が、令和元年度の事業概要です。事業実施に当たりまして多大なご協力を賜りました皆様方に、重ねて感謝申し上げます。

冒頭申し上げたとおり、いま私たちは新型コロナウイルスの感染拡大というこれまで経験したことのない厳しい状況に直面しております。これは、地域福祉の根幹である“人と人のつながり”を揺るがしかねない重大な事態であります。

関係の皆様には、日ごろから社会福祉協議会事業について、様々な面でご協力をいただいている中で、新年度にかけて新型コロナウイルス感染防止のため、一部事業を自粛いただくなど、大変なご迷惑をおかけしております。

引き続き、市社協は「福祉でまちづくり」を進めるため、行政、地域、市民の皆様、福祉団体・関係者、事業者等とのつなぎ役、「支え合いの要」であることを意識し、自らも実践することで、その役割を果すようしっかりと取り組んでいきますので、これまでと変わらぬご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

各事業の詳細は、次のページからの事業実施概要（付属資料）に記載していますので、ご参照をお願いいたします。

令和元年度
事業実施概要
(付属資料)

自 平成31年4月1日 至 令和2年3月31日

社会福祉法人 酒田市社会福祉協議会

1 市民による支え合い活動の推進

新・草の根事業

学区地区 社 協	見守り支援事業			合同研修		ふれあい給食		地域交流		地域あんしん
	ネットワーク 対象者数	福 祉 隣組数	福 祉 協力員数	回 数	延人数	回 数	延人数	回 数	延人数	回 数
琢 成	335	214	21	2	125	7	557	132	1,963	156
浜 田	186	109	33	2	49	14	556	85	2,920	26
若 浜	69	62	18	1	51	9	554	283	2,191	24
富士見	68	57	11	2	106	6	377	128	1,466	60
亀ヶ崎	84	82	18	6	237	7	487	15	487	24
松 原	89	75	17	2	120	7	185	18	488	38
港 南	44	32	9	2	54	10	492	17	152	24
松 陵	68	50	16	2	83	11	474	45	2,096	36
泉	34	34	13	2	94	8	88	12	2,240	24
宮野浦	58	54	12	0	0	6	246	115	2,067	23
飛 島	33	9	4	1	18	3	95	20	521	25
西荒瀬	34	37	16	2	58	6	156	50	542	24
新 堀	46	53	9	2	73	6	234	11	171	24
広 野	25	25	9	2	33	6	78	15	552	24
浜 中	9	6	3	2	34	2	46	10	156	24
黒 森	21	4	7	2	48	2	60	13	1,751	24
十 坂	42	38	11	2	44	3	76	20	958	24
東平田	71	38	4	2	48	11	70	86	818	24
中平田	26	7	8	2	60	9	81	18	184	24
北平田	22	10	14	2	74	5	82	21	429	24
上 田	33	27	11	2	57	5	59	23	362	56
本 楯	32	32	19	2	70	6	137	10	1,246	24
南遊佐	51	36	10	2	57	5	100	10	138	24
小 計	1,480	1,091	293	46	1,593	154	5,290	1,157	23,898	780
一 條	37	32	34	2	58	1	78	134	1,646	24
観音寺	42	40	38	2	60	3	154	46	2,127	34
大 沢	26	15	17	3	154	3	243	53	334	24
日 向	29	21	20	4	148	8	333	37	455	12
小 計	134	108	109	11	420	15	808	270	4,562	94
南 部	11	21	7	2	51	6	80	78	805	24
山 寺	4	8	4	2	33	6	53	26	473	24
松 嶺	72	118	13	2	50	6	171	16	293	24
内 郷	43	58	12	2	26	6	66	14	463	24
小 計	130	205	36	8	160	24	370	134	2,034	96
田 沢	59	35	8	2	45	3	278	92	810	24
東 陽	195	45	13	2	54	2	91	216	1,954	28
郡鏡・山谷	38	14	13	2	34	4	54	113	1,040	36
南平田	59	15	24	2	30	2	35	21	277	36
砂越・砂越緑町	84	31	3	2	45	2	63	66	1,025	26
小 計	435	140	61	10	208	13	521	508	5,106	150
合 計	2,179	1,544	499	75	2,381	206	6,989	2,069	35,600	1,120

赤い羽根共同募金及び歳末たすけあい募金活動

(1) 共同募金実績 (単位：円、%)

委員会名	目標額	実績額	達成率	増減
酒田市委員会	12,490,000	12,405,129	99.3%	△84,871

(2) 歳末たすけあい募金実績 (単位：円、%)

委員会名	目標額	実績額	達成率	増減
酒田市委員会	4,000,000	3,936,223	98.4%	△63,777

(3) 共同募金助成内訳

A助成（山形県共同募金会で決定される、施設、団体への助成）3,790,000円

B助成（社協への地域福祉活動助成）5,681,812円

C助成（前年度歳末たすけあい募金による助成を実施した後の余剰金）640,736円

① A助成

<p>社会福祉法人保育事業「福祉の心」（17団体）1,020,000円</p> <p>* 広野保育園 * 新堀保育園 * 浜中保育園 * 黒森保育園 * 若宮保育園</p> <p>* 宮野浦保育園 * 報恩会保育園 * 若浜保育園 * 泉保育園 * 小鳩保育園</p> <p>* 北新橋保育園 * 亀ヶ崎保育園 * 十坂こども園 * 西荒瀬保育園 * 酒田ふたば園</p> <p>* 北平田保育園 * アテネ幼稚園</p>
<p>障がい者小規模作業所支援事業（4団体）520,000円</p> <p>* NPO法人支援センターふれあい工房 * NPO法人みらいず</p> <p>* NPO法人なのはな畑 * 多機能福祉施設こもれび</p>
<p>民間学童保育所支援事業（5団体）750,000円</p> <p>* 富士見学区学童保育所 * 琢成学区学童保育所 * 松原学区第1学童保育所</p> <p>* 松原学区第2学童保育所 * 浜田学区学童保育所</p>
<p>地域在宅・特別在宅事業（5団体）500,000円</p> <p>* ちょうかい子育て応援団 * 泉学区子育て応援団 * 松原学区社会福祉協議会</p> <p>* 亀ヶ崎社会福祉協議会 * NPO法人宮野浦創成世会議ホッとなる</p>
<p>車両整備事業（1団体）1,000,000円</p> <p>* 酒田市社会福祉協議会</p>

② B・C助成

<p>福祉育成援助活動費（12団体及び市社協事業）4,364,548円</p> <p>* 酒田市ボランティア連絡協議会 * 平田ボランティア連絡協議会</p> <p>* 酒田市遺族会 * 八幡遺族会 * 遺族会松山支部 * 平田遺族会</p> <p>* 酒田市自治会連合会 * 酒田市民生委員・児童委員協議会連合会</p> <p>* 酒田市電気工事組合 * 山寺地区社会福祉協議会 * 大沢地区社会福祉協議会</p> <p>* 平田なごみ会 * 酒田市社会福祉協議会</p>

高齢者福祉活動費（4団体）339,000円 ＊酒田市老人クラブ連合会酒田支部 ＊酒田市老人クラブ連合会八幡支部 ＊酒田市老人クラブ連合会松山支部 ＊酒田市老人クラブ連合会平田支部
児童・青少年福祉活動費（20団体）740,000円 ＊NPO法人がくほれんwith酒田 ＊17法人保育園 ＊酒田市子供まつり実行委員会 ＊子育てサポートグループ「ぴーちくぱーく」
障がい児（者）福祉活動費（15団体）759,000円 ＊NPO法人酒田市障がい者福祉会 ＊酒田飽海鍼灸マッサージ師会 ＊八幡身体障害者更生会 ＊松山障がい者福祉会 ＊平田身体障害者福祉協会 ＊酒田手をつなぐ育成会 ＊八幡手をつなぐ育成会 ＊松山・平田手をつなぐ育成会 ＊社会福祉法人酒田市あすなる福祉会 ＊NPO法人支援センターふれあい工房 ＊NPO法人障がい者サポートセンターあらた ＊NPO法人なの花畑 ＊障がい福祉サービス事業所たぶの木 ＊NPO法人みつば ＊スワンの会
母子・父子福祉活動費（1団体）120,000円 ＊酒田市母子福祉ねむの木会

(4) 歳末たすけあい募金助成内訳

①低所得世帯へとその児童への助成

(単位：世帯、人、円)

世帯人数	酒田支部		八幡支部		松山支部		平田支部	
	件数	単価	件数	単価	件数	単価	件数	単価
1人世帯	53	2,000	27	5,000	24	5,000	44	5,000
2人世帯	107	3,000	8	6,000	10	7,000	13	6,000
3人世帯	96	5,000	11	7,000	2	10,000	7	7,000
4人以上	86	7,000	12	8,000	2	12,000	9	8,000
児童への贈り物	371	1,000	29	1,000	4	3,000	25	1,000
合計	713	1,880千円	87	385千円	42	246千円	98	444千円
戸別募金額	100		300		300		300	

②歳末たすけあい地域福祉事業

- 高齢者クリスマス交流事業に 72,235円助成（八幡支部）
- 高齢者クリスマス交流事業に 23,613円助成（松山支部）
- 高齢者クリスマス交流事業に 49,704円助成（平田支部）

※令和元年度の歳末たすけあい募金による助成合計額は、3,100,552円（元年度歳末たすけあい募金実績3,936,223円との差額835,671円は2年度のC助成）

赤十字活動

(1) 社資納入状況

年度	目標額	実績額	達成率
令和元年度	21,241,000 円	18,479,612 円	87.0%
平成 30 年度	21,266,000 円	18,686,374 円	87.9%

○社資納入実績内訳

一般社資		法人社資		計
会費	寄付金	会費	寄付金	
8,555,070 円	9,921,348 円	0 円	3,914 円	18,479,612 円
18,475,418 円		3,194 円		

*会費とは、日本赤十字社の会員（住所、氏名が明確な方）として納めていただく納付金のことで、日赤山形県支部では、年額 700 円以上と定めている。住所・氏名が明確でない場合、または、納付金が 700 円未満の場合は、寄附金扱いとしている。

○支部別実績及び交付金

支部名	酒田支部	八幡支部	松山支部	平田支部	計	
実績額	15,266,712 円	1,148,000 円	872,900 円	1,192,000 円	18,479,612 円	
件数	会費扱い	8,881 件	1,640 件	0 件	1,704 件	12,225 件
	寄附扱い	168 件	0 件	43 件	0 件	170 件
	計	9,008 件	1,640 件	43 件	1,704 件	12,395 件
交付金	1,526,670 円	114,800 円	87,290 円	119,200 円	1,847,960 円	

(2) 災害救援事業（被災状況及び見舞金、救援物資の交付状況）

区分	件数 (件)	被災者(人)	見舞金額(円)	救援物資		
				毛布	緊急セット	学用品
全焼	0	0	0	0	0	0
半焼	0	0	0	0	0	0
部分焼	0	0	0	0	0	0
ぼや	0	0	0	0	0	0
災害死亡者弔慰金		0 人	0 円			

(3) 講習会の実施状況

・救急短期講習・・・ 15回 462名

(4) 義援金の受付（平成 31 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日まで）

・東日本大震災義援金 (4 件 268,161 円)
 ・熊本地震災害義援金 (1 件 53 円)
 ・7 月豪雨災害義援金 (4 件 36,237 円)
 ・平成 29 年 7 月 5 日からの大雨災害義援金 (1 件 100 円)

- ・平成 30 年北海道胆振東部地震災害義援金 (5 件 14, 176 円)
- ・令和元年 8 月豪雨災害義援金 (2 件 254 円)
- ・令和元年台風 15 号災害義援金 (9 件 40, 385 円)
- ・令和元年台風 19 号災害義援金 (21 件 625, 269 円)

(5) 各種団体への助成

団体名	酒田市地区からの助成額	山形県支部からの助成額	主な活動
酒田市献血推進連絡協議会	166,000 円	—	15 地区へ助成、総会・研修
酒田市赤十字奉仕団	—	80,000 円	地域奉仕活動等
酒田市本楯赤十字奉仕団	—	50,000 円	清掃ボランティア等
酒田市松山婦人赤十字奉仕団	—	50,000 円	施設ボランティア等
青少年赤十字加盟校 (若浜小)	各 15,000 円	—	清掃ボランティア等

(6) 献血実施状況

確保目標 (人)	受付 (人)	採血 (人)	達成率 (%)
200 ml 22	36	35	159.09
400 ml 1,964	2,529	2,280	116.09
— 790,000ml	—	919,600ml	116.41

(7) その他の活動

- ・弔辞、奉呈事業資材 (ローソク) の配布 随時
- ・救急箱の貸し出し 1 件
- ・テントの貸し出し 2 件
- ・野外炊飯器の貸し出し 2 件
- ・赤十字関係者のつどいへの参加 令和元年 11 月 7 日

2 高齢者、障がい者等の権利擁護

福祉サービス利用援助事業

(相談内容別件数)

相談内容／相談件数	R元	H30	H29	H28
福祉サービスの手続援助	66	59	57	50
金銭管理	694	755	498	248
書類等預かり	10	27	3	13
保健サービス	0	0	0	3
医療機関	11	12	6	2
福祉サービス苦情	0	0	0	1
生活設計	26	23	4	15
本事業関係	83	104	94	84
成年後見制度に関する相談	19	15	5	1
その他	151	61	33	42
合 計	1060	1056	700	459

○契約内容別件数

・契約種別件数

継 続	121	109	91	78
新 規	30	27	36	31
解 約	21	15	18	18
計	130	121	109	91

・契約者状況別件数

認知症等高齢者	76	70	69	54
精神障がい者	29	27	21	15
知的障がい者	18	18	15	16
その他	7	6	4	6
計	130	121	109	91

・世帯類型別件数

在宅独居	43	38	37	34
在宅同居	11	10	11	14
医療機関	13	12	7	6
老人保健施設	6	6	5	2
特別養護老人ホーム	5	6	7	4
グループホーム	20	19	12	11
ケアハウス	7	6	9	8
有料老人ホーム	17	17	14	12
その他	8	7	7	0
計	130	121	109	91

・援助内容別件数(延べ件数)

福祉サービス利用援助	130	121	109	91
日常的金銭管理サービス	130	121	109	91
書類等預かりサービス	128	119	106	86
計	388	361	324	268

・解約事由別件数

成年後見制度利用	2	5	1	3
施設入所・移行	2	0	0	1
死亡	12	4	8	7
親族への移行	3	3	4	0
本人へ返却	1	2	3	3
その他	1	1	2	4
計	21	15	18	18

成年後見事業

民法に定められた成年後見制度で、山形家庭裁判所酒田支部からの成年後見事件について法人として成年後見人の受任を行うもの。

加齢や障がいなどにより判断能力が低下した者の契約手続きなど、法律行為を代理し本人の権利を擁護する事業。

・業務審査委員会及び受任検討委員会開催状況

令和元年6月11日（月）受任検討委員会 事案1件

令和元年7月30日（火）受任検討委員会 事案1件

令和2年3月11日（水）成年後見業務審査委員会

・受任状況

	件数合計	保佐	補助	後見
令和元年度新規受任件数	1	0	0	1
終了件数	2	0	0	2
現在受任件数	11	2	0	9

3 低所得者支援

生活困窮者自立支援事業（生活自立支援センター）

新規相談受付数（人）	酒田市	庄内町	遊佐町
男性	108	8	7
女性	108	13	4
合計	216	21	11

年齢層（人）	酒田市	庄内町	遊佐町
～10代	3	0	1
20代	13	0	1
30代	23	7	1
40代	45	6	0
50代	50	4	4
60～64歳	24	2	0
65歳以上	51	0	4
不明	8	2	0
合計	216	21	11
相談対応（延）	酒田市	庄内町	遊佐町

来所面談	502	48	16
訪問	436	30	32
電話・連絡	578	49	43
同行	55	15	8
メール	8	6	1
合計	1579	148	100

相談内容(延)	酒田市	庄内町	遊佐町
病気や健康、障がいのこと	79	14	13
住まいについて	49	6	8
収入・生活費のこと	468	27	27
家賃やローンの支払のこと	125	14	5
税金や公共料金等の支払について	116	7	7
債務について	87	17	7
仕事探し、就職について	536	69	48
仕事上の不安トラブル	94	26	6
地域との関係について	9	0	0
家族との関係について	89	7	5
子育てのこと	3	1	0
介護のこと	1	0	0
ひきこもり・不登校	34	7	7
DV・虐待	4	0	0
食べるものがない	76	7	4
子どもの教育費について	28	1	1
ひとり親世帯	12	0	1
その他	41	8	4
生活福祉資金に関すること	206		
合計	2057	211	143

支援調整会議	酒田市	庄内町	遊佐町
支援調整会議開催数(回)	14	8	6
新規支援プラン数	33	7	6
支援期間延長プラン数	7	1	0
支援プラン終結数	72	16	12

就労支援状況（人）	酒田市	庄内町	遊佐町
就職決定者	52	8	4
増収した者	1	0	0

フードバンク	酒田市	庄内町	遊佐町
食品提供者（人）	121	14	12

生活福祉資金貸付事業

（相談件数 201件）

資金種別	受付件数	決定件数	備考
総合支援資金	1	1	
福祉資金	5	5	
緊急小口（特例2件含む）	23	22	不承認1件
教育支援資金	8	8	
要保護世帯向け不動産担保型生活資金	0	0	

たすけあい資金貸付事業

貸付件数	貸付額	返済件数 （過年度含）	返済額
92	2,980,000	230	2,185,716

4 ボランティア等市民活動の振興と支援

ボランティア・公益活動センターの運営

（1）ボランティア・公益活動推進委員会の開催

○第1回（4月22日）

- ・酒田市公益活動推進アクションプランの進捗状況について
- ・平成30年度事業報告について
- ・相互提案型協働事業（案）について
- ・平成31年度事業計画（案）について
- ・視察研修（案）について

○第2回（2月19日）

- ・令和元年度事業の進捗状況について
- ・令和2年度事業計画（案）について
- ・相互提案型協働事業について

- ・センター愛称決定二次審査会
- (2) ボランティア・公益活動に関する普及・啓発、人材育成、交流等

○主催事業

- ・「あなたのボランティア魂に灯をつける!!かもしれない!?夏のボランティア体験」事前説明（7月13～29日、8月13日、27回）・・・参加者89名
- ・ボランティア体験（7月20日～8月31日）・・・参加者107名※うち学習会のみ13名、参加団体30（のべ32メニュー）
- ・夏ボラカフェ（9月21日）・・・参加者13名（スタッフ等含む）
- ・視察研修（8月24日）「東根市公益文化施設『まなびあテラス』、「山形市市民活動支援センター」・・・参加者16名（スタッフ等含む）
- ・酒田市ボランティア・公益活動センター愛称決定「ボラポートさかた」公募（10月1日～10月31日）、一次審査会（11月27日）、人気投票（12月16日～1月31日）、二次審査会（2月19日）
- ・「しりあう・つながる・何か生まれる!!かもしれない!?交流会～ボランティア・市民活動交流会～」第1部 補助金等の研修会、第2部 交流&PRタイム（2月1日）・・・参加者62名（スタッフ等含む）、団体数23

○共催、参加事業

- ・酒田市社会福祉協議会事業
酒田日和山公園桜まつり開催期間中の車いす無料貸出し（4月12～21日 ※うち1日雨天のため中止）・・・利用者38名
- ・東北公益文科大学 地域共創センター主催
「ボランティアコーディネーションカ3級検定」事前学習会（8月21日、9月4日）、直前研修、検定試験（9月14日）・・・受験者47名
- ・酒田市文化芸術推進プロジェクト会議、酒田市主催
「第2回酒田市障がい者アート展 見て!カラフルな私の世界」（11月28日～12月1日）・・・来場者のべ789名
（11月27日内覧会・ギャラリートーク含む）
- ・庄内地域広げようボランティアの輪連絡会議主催
「ボランティアの集い2019」（研修会・交流会）（11月24日）・・・参加者60名程（うち酒田18名、スタッフ等含む）
- ・酒田市東日本大震災追悼のつどい事業「9年目のキャンドルナイト in 中町」実行委員会主催
「9年目のキャンドルナイト」（3月11日）・・・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、代替事業として主催者にて絵灯籠・キャンドル点灯

○相談、活動のコーディネート

ボランティア・市民活動に関すること（ボランティアをしたい、ボランティアを探している等）、団体の活動周知に関すること、補助金に関すること、ボランティア活動保険に関することなどの相談を、電話、窓口、メールなどで受け、随時コーディネートを行った。

(3) ボランティア・公益活動に関する情報発信

- ・ボランティア・公益活動センターだより 9回 各約1000部発行
- ・ホームページを活用して、最新情報を随時発信
- ・メール・FAXでの情報送信 登録団体・登録者へ

(4) 市よりの受託事業

- ボランティア・公益活動センター業務
 - ・公益活動支援補助金・・・相談、申請受付、審査会開催など
 - ・ボランティア・公益活動団体の紹介ブックレット発行
 - ・飛島ボランティア活動支援補助金・・・相談、申請受付など
- 福祉の担い手育成事業
 - ・高齢者疑似体験事業 市内の小中学校10校 15回実施
- 手話奉仕員育成事業
 - ・手話教室の実施
 - 手話奉仕員養成講座 全40回 参加者15名(うち7名修了、4名に修了証)
 - ステップアップ講座 全20回 参加者9名
- 元気シニアボランティア事業
 - 対象地区 琢成・松陵・浜田・若浜・亀ヶ崎・松原・港南・富士見・泉地区
 - 登録者14名

ボランティア保険加入手続き

ボランティア活動等を行う市民の皆様が安心して活動を実施するために、全国社会福祉協議会が一括で損害保険会社と契約する保険の取りまとめ窓口として、受付事務を行いました。

(酒田支部)	団体数	個人	合計人数	前年度
ボランティア活動保険	36	36	2732	2569
ボランティア行事用保険	9	0	延べ596	延べ2441
福祉サービス総合補償	3	0	652	201
送迎サービス補償	1	0	延べ600	延べ600
社協サロン保険	0	0	0	0

(八幡支部)	団体数	個人	合計人数	前年度
ボランティア活動保険	1	1	8	13
ボランティア行事用保険	1	0	24	125
福祉サービス総合補償	0	0	0	0
送迎サービス補償	0	0	0	0
社協サロン保険	0	0	0	0

(松山支部)	団体数	個人	合計人数	前年度
ボランティア活動保険	4	2	99	104
ボランティア行事用保険	7	0	140	120
福祉サービス総合補償	0	0	0	0
送迎サービス補償	0	0	0	0
社協サロン保険	0	0	0	0

(平田支部)	団体数	個人	合計人数	前年度
ボランティア活動保険	21	1	735	718
ボランティア行事用保険	5	0	386	428
福祉サービス総合補償	0	0	0	0
送迎サービス補償	0	0	0	0
社協サロン保険	5	0	844	1020

	団体数	個人	合計人数	前年度
総 合 計	93	40	6816	8339

5 災害対策の実施

災害時の対応と災害に備えたボランティア活動

- ・社協防災訓練（9月13日）・・・災害ボランティアセンター設置・運営訓練
- ・台風19号の被災地支援ボランティアバス運行
宮城県大崎市（10月27日、11月2日）参加者のべ40名
宮城県丸森町（11月9日、17日、30日、12月7日）参加者のべ70名
- ・日向地区除雪ボランティア（2月8日）・・・日向コミュニティ振興会、市と企画。
参加者24名（スタッフ含む）※雪不足のため1月中止
- ・名取市閑上地区追悼行事への協力（2月）・・・灯籠絵の作成協力

令和元年度 避難者生活相談支援事業 会議・交流会等

4月	16(火) こんにちわサロン with 避難者相談会 17(水) 庄内地域避難者生活支援相談員情報交換会
5月	21(火) こんにちわサロン with 避難者相談会 24(金) 被災者生活支援調整会議(山形)
6月	18(水) やまがた避難者支援協働ネットワーク避難者ケースマネジメント研修会(山形) 18(火) こんにちわサロン with 避難者相談会 28(金) 支援者のつどい(山形)
7月	16(火) こんにちわサロン with 避難者相談会 23(火) 村山ブロック生活支援相談員連絡会議
8月	20(火) こんにちわサロン with 避難者相談会 21(水) 庄内地域避難者生活支援相談員情報交換会 30(金) 被災者生活支援調整会議(山形)
9月	17(火) こんにちわサロン with 避難者相談会
10月	7(月) やまがた避難者支援協働ネットワーク意見交換会(山形) 15(火) こんにちわサロン with 避難者相談会 *18(金) 避難世帯に対する全戸訪問説明会(台風19号対応のため中止) 18(金) 高齢者を対象とする交流会を鶴岡市社協と合同開催
11月	7(木) 東日本大震災に伴う避難世帯への全戸訪問の打ち合わせ 14(木) 支援者スキルアップ研修(山形) 19(火) こんにちわサロン with 避難者相談会 26(火) 被災者生活支援調整会議(山形)
12月	17(火) こんにちわサロン with 避難者相談会
1月	15(水) 16(木) CN 絵灯籠ワークショップ参加 21(火) こんにちわサロン with 避難者相談会 24(金) 庄内地域避難者生活支援相談員連絡会議
2月	17(月) 全戸訪問実績状況調査・意見交換会 18(火) こんにちわサロン with 避難者相談会
3月	*6(金) 被災者生活支援調整会議(山形)(コロナウィルス感染症拡大防止のため中止) *11(月) 東日本大震災追悼の集い事業キャンドルナイト (コロナウィルス感染症拡大防止のため中止、少人数にてキャンドル等灯火) 17(火) こんにちわサロン with 避難者相談会 18(水) 酒田市避難者生活相談支援事業連絡会議

*月1回、こんにちわだよりの発行をしています。

避難者生活相談支援事業活動

月		コンタクト方法							のべ 人数	合計
		電話	E メール	来所	訪問	サロン	その他 イベント等			
4	避難者	1		6	42	1	6		56	76
	支援者	9	3	3	3	2			20	
5	避難者	3	1	5	44	1	8		62	78
	支援者	5	6	1	2	1	1		16	
6	避難者	8	1	10	18	1	10		48	79
	支援者	11	6	1	12	1			31	
7	避難者	6	4	9	30	1	26		76	91
	支援者	3	6	2	2	2			15	
8	避難者	2		7	14		14		37	53
	支援者	6	6	1	2	1			16	
9	避難者	4		9	39	3	7		62	79
	支援者	8	3	3	1	2			17	
10	避難者	4		6	3	1	8		22	38
	支援者	7	5	1	2	1			16	
11	避難者	7	2	7	42		6		64	86
	支援者	8	8	2	2	2			22	
12	避難者	12	9	3	33	2	2		61	81
	支援者	6	2	9	1	2			20	
1	避難者	3		8	6	1	7		25	49
	支援者	8	10	2	2	2			24	
2	避難者	3		9	3	1	8		24	40
	支援者	2	5	5	2	2			16	
3	避難者	8		5	1	1	2		17	40
	支援者	10	7	2	2	2			23	

6 相談事業

心配ごと相談

相談内容	件数
家族に関する相談	4
生計に関する相談	0
住宅に関する相談	1
その他	2
合計	7
前年度計	10

7 介護保険事業

居宅介護支援事業

(1) 事業所別給付管理件数

○居宅介護支援事業所酒田市社会福祉協議会

(単位：件)

	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
給付管理業務	管理数	312	318	328	336	338	341	346	349	352	349	353	351	4,073
	要介護1.2	200	203	209	212	212	213	212	211	214	213	217	216	2,532
	要介護3.4.5	112	115	119	124	126	128	134	138	138	136	136	135	1,541
受託業務	予防支援	13	16	16	17	16	16	16	16	16	16	16	15	189
	認定調査	42	25	32	32	31	27	29	38	37	41	27	34	395

○特定相談支援事業、障害児相談支援事業

(単位：件)

	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
給付管理業務	管理数	17	13	25	21	17	24	21	21	26	16	15	23	239
	モニタリング	14	7	16	14	16	18	11	15	19	13	10	15	168
	計画作成	3	6	9	7	1	6	10	6	7	3	5	8	71

訪問介護事業

①訪問介護利用状況

(単位：回数)

月	介護保険事業				酒田市委託事業				保険外	合計
	総合事業		身体介護	生活援助	障がい者自立支援				生活支援	
	A型	従前相当			身体介護	家事援助	同行援護	移動支援		
4	155	14	426	582	40	124	15	8	45	1,409
5	160	13	432	596	35	130	19	5	27	1,417
6	141	12	407	591	31	124	18	9	25	1,358
7	161	14	456	594	33	129	17	6	29	1,439
8	141	13	443	544	74	170	11	6	16	1,418
9	145	12	449	545	75	167	22	6	11	1,432
10	158	14	507	533	88	188	19	4	27	1,538
11	136	12	500	477	62	156	19	7	13	1,382
12	136	17	456	482	54	141	13	9	26	1,334
1	129	17	462	527	50	149	12	4	24	1,374
2	119	16	419	482	66	139	7	5	19	1,272
3	135	22	442	519	80	156	7	3	20	1,384
合計	1,716	176	5,399	6,472	688	1,773	179	72	282	16,757
前年	1,344	183	3,930	6,720	841	2,521	68	71	336	16,014

②訪問介護職員研修会開催状況

月	研修内容	月	研修内容
4	平成31年度事業計画について 職員職業倫理及び法令遵守	10	調理実習 「缶詰をメインで家庭にある食材で調理」
5	個人情報の管理と取り扱いについて	11	感染症対策 ノロウィルスの注意事項と二次感染の防止
6	感染症及び食中毒について	12	事例検討会 ① 希望を叶える関わり方 ② 認知症の在宅継続
7	交通安全研修会 「交通事故発生状況からみる交通事故防止」	1	高齢者虐待・身体拘束について
8	山形県社協職場内研修講師 「メンタルヘルス支援」について	2	令和元年度研修報告
9	救急法講習「心肺蘇生、AEDを用いた除細動」	3	「令和元年度の反省・自己評価」 「令和2年度年間計画・研修について」

通所介護事業

①酒田市デイサービスセンターいずみ利用状況

(単位：人)

月	介護度区分								計	内訳		稼働日数	利一日平均	利用実人員
	事業対象	支援1	2	介護1	2	3	4	5		入浴	食事			
4	0	8	75	109	96	135	35	24	482	457	482	26	18.5	56
5	0	9	67	107	118	154	37	28	520	491	519	27	19.3	56
6	2	8	63	102	112	150	23	25	485	445	482	25	19.4	58
7	5	3	59	99	140	156	24	31	517	488	512	27	19.1	56
8	4	4	69	83	167	156	25	25	533	508	529	27	19.7	59
9	4	4	63	83	184	132	24	25	519	484	515	25	20.8	60
10	5	5	74	103	204	153	26	28	598	560	593	27	22.1	63
11	4	4	58	97	190	119	40	21	533	501	529	26	20.5	62
12	4	1	50	83	193	90	8	22	451	417	445	25	18.0	56
1	4	0	54	82	184	89	12	16	441	433	437	24	18.4	55
2	2	0	56	88	184	82	24	16	452	441	443	25	18.1	54
3	4	0	53	65	187	108	27	27	471	458	453	26	18.1	54
合計	38	46	741	1,101	1,959	1,524	305	288	6,002	5,683	5,939	310	19.4	689
前年度合計	0	60	796	1,425	1,443	1,096	372	209	5,401	5,102	5,355	306	17.7	615
月平均	0.0	3.8	61.8	91.8	163.3	127.0	25.4	24.0	500.2	473.6	494.9	25.8	19.4	57.4

②酒田市デイサービスセンターいずみ利用状況（認知症対応型通所介護）

(単位：人)

月	介護度区分						計	内訳		稼働日数	利一日平均	利用実人員		
				介護1	2	3		4	5				入浴	食事
4				32	13	62	25	23	155	129	155	26	6.0	18
5				51	30	67	25	23	196	158	196	27	7.3	18
6				48	27	51	24	22	172	137	172	25	6.9	20
7				57	40	60	25	13	195	164	195	27	7.2	19
8				34	50	59	25	14	182	157	182	27	6.7	18
9				32	60	58	24	12	186	164	186	25	7.4	18
10				27	71	51	24	23	196	173	196	27	7.3	17
11				21	61	52	25	22	181	164	181	26	7.0	17
12				10	56	64	24	13	167	159	167	25	6.7	17
1				3	55	79	23	5	165	150	165	24	6.9	17
2				10	56	72	24	17	179	156	178	25	7.2	19
3				8	47	71	25	17	168	145	167	26	6.5	18
合計				333	566	746	293	204	2,142	1,856	2,140	310	6.9	216
前年度合計				352	319	937	537	51	2,196	1,868	2,195	308	7.1	207
月平均				27.8	47.2	62.2	24.4	17.0	178.5	154.7	178.3	25.8	6.9	18.0

③酒田市デイサービスセンター松山

(単位：人)

月	介 護 度 区 分								計	内 訳		稼働日数	利一日平均 利用人数	利用実人員
	事業対象者	要支援1	要支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5		入浴	食事			
4	22	5	17	76	114	66	0	21	321	313	276	26	12.3	38
5	35	4	17	70	111	62	2	22	323	293	315	27	12.0	39
6	32	4	26	82	99	62	3	21	329	299	320	25	13.2	43
7	33	5	25	109	104	80	8	23	387	355	378	27	14.3	48
8	28	4	27	111	108	81	5	22	386	347	375	27	14.3	45
9	27	3	23	118	129	67	6	24	397	362	389	25	15.9	46
10	22	5	32	122	161	72	7	28	449	412	438	27	16.6	51
11	12	4	27	125	145	75	17	32	437	381	423	26	16.8	53
12	11	4	24	100	157	84	21	31	432	387	420	25	17.3	55
1	4	4	16	99	147	78	13	24	385	338	373	23	16.7	49
2	4	3	21	75	166	95	12	24	400	344	387	25	16.0	47
3	8	5	17	59	193	93	13	28	416	369	403	26	16.0	48
合 計	238	50	272	1,146	1,634	915	107	300	4,662	4,200	4,497	309	15.1	562
前年度合計	289	11	185	982	1,390	1,020	60	366	4,303	3,971	4,165	307	14.0	535
月平均	19.8	4.2	22.7	95.5	136.2	76.3	8.9	25.0	388.5	350.0	374.8	25.8	15.1	46.8

地域包括支援センター にいだ

酒田市地域包括支援センターにいだ活動報告

◆予防給付に関すること (単位:件)

予防プラン作成	546
介護報酬請求	1,824
うち 委託件数	347
予防プランチェック	36
サービス担当者会議	98
サービス調整	692
その他	108
予防給付計	3,651

◆一般高齢者事業に関すること (単位:回)

	介護予防講座	サロン事業
運営会議	1	8
講座	2	7
その他	1	33
計	4	48
サービスBに関すること	48	
一般高齢者事業に関する事の計	100	

◆相談に関すること (相談者別) (単位:件)

本人	861
家族・親族	560
民生委員	148
地域関係者	57
事業所	375
医療機関	159
行政	171
その他	73
計	2,404

◆相談に関すること (相談対象別) (単位:件)

高(65歳以上)一般	1,665
高(65歳以上)精神	87
高(65歳以上)認知	565
未(65歳未満)一般	15
未(65歳未満)精神	29
未(65歳未満)認知	0
その他	43
計	2,404

注) 高: 65歳以上、未: 65歳未満

◆相談に関すること (相談方法別) (単位:件)

訪問	871
電話	1,228
来所	219
その他	86
計	2,404

◆相談に関すること (相談回数) (単位:件)

新規	514
年度初回	384
年度継続	1,506
計	2,404

◆ 1 総合相談 (単位:件)

介護保険対象サービス	627
介護保険以外	172
施設入所	85
家族問題	96
生活環境・経済問題	225
疾病・医療について	205
実態把握	334
その他	110
小計	1,854

◆ 2 権利擁護関係 (単位:件)

成年後見制度	16
高齢者虐待	92
消費者被害	23
事例検討会(虐待など)	1
その他	29
小計	161

◆ 3 包括的・継続的 (単位:件)

1支援困難事例	79
2サービス担当者会議	6
3ケアプラン作成相談	10
4ケアマネ支援	74
5退院支援	64
6その他	69
小計	302

◆ 4 介護予防ケアマネジメント (単位:件)

予防プラン作成	0
サービス調整	74
その他	13
小計	87

◆ 相談内容合計 (単位:件)

1 総合相談	1,854
2 権利擁護関係	161
3 包括的・継続的	302
4 介護予防ケアマネジメント	87
合計	2,404

8 広報活動、顕彰、慰霊事業

広報活動

酒田市社協会報「ふれあい」の発行

号 頁	45号 (R元. 6. 15 発行)	46号 (R元. 10. 1 発行)	47号 (R元. 3. 15 発行)
表 紙	・地域活動紹介 (松山「おとこかれーくらぶ」)	・赤い羽根共同募金助成先紹介 (泉学区子育て応援団)	・台風19号被災地ボランティアバス運行
2	・令和元年度事業計画、予算概要	・赤い羽根共同募金活動開始 (令和元年度助成先募集、平成30年度助成先の紹介等)	・災害ボランティアセンター紹介 (ボランティアを受け入れる側になったら)
3	・第3期地域福祉活動計画中間評価・中間見直し		
4	・社協の相談窓口	・子どもの居場所づくり (県子どもの居場所づくりサポートセンター紹介等)	・福祉関係表彰受賞者の紹介
5			
6	・社協会費、日赤会費ご協力への御礼 ・社協会費質疑応答 ・令和元年度予算概要	・平成30年度決算報告 ・理事・監事・評議員紹介	・赤い羽根共同募金、歳末たすけあい募金への協力者・団体の紹介
7	・お知らせ (赤い羽根共同募金助成先募集 等) ・ご寄付ご寄贈の報告	・お知らせ (人権フォーラム開催等) ・相談窓口 (生活自立支援センター等) ・ご寄付ご寄贈の報告	・お知らせ (ボランティア活動保険等) ・相談窓口 ・ご寄付ご寄贈の報告
8	・PHOTO 社協 写真で見る社協事業 (日和山桜まつり車いす貸出し等) ・地域活動団体紹介	・PHOTO 社協 写真で見る社協事業 (夏のボランティア体験、法人による成年後見事業等)	・PHOTO 社協 写真で見る社協事業 (極める男のためのセカンドライフ講座等)
折 込			赤い羽根共同募金・歳末助け合い募金への協力法人等

ラジオ番組「社協ほのぼのタイム」の放送

○放送局 酒田エフエム放送株式会社 ハーバーラジオにて

○放送日 毎月第1日曜日 午前9時15分より（再放送 第3日曜日 同時刻）

令和元年度放送内容	
4月放送分	社協の相談窓口紹介
5月放送分	社会福祉法人と「地域における公益的な取組」について
6月放送分	会報「ふれあい」と社協の広報について
7月放送分	酒田市ボランティア・公益活動センターについて
8月放送分	生活自立支援センターさかたについて
9月放送分	福祉サービス利用援助事業について
10月放送分	赤い羽根共同募金について
11月放送分	災害ボランティアセンターについて
12月放送分	歳末たすけあい運動について
1月放送分	成年後見制度について
2月放送分	キャンドルナイトについて
3月放送分	見守りネットワーク支援事業について

顕彰事業

令和元年度酒田市社会福祉協議会表彰式

○日 時 令和元年11月21日（木） 午前10時～

○場 所 酒田市地域福祉センター 大会議室

○表彰者 住民自治活動1名、民生委員児童委員活動32名、遺族会活動1名、
母子福祉活動1名、福祉協力員活動10名、社会福祉活動2名、
ボランティア活動1名
計48名

○感謝状 地域福祉活動協力者7名

令和元年度山形県・県民福祉大会表彰式

○日 時 令和元年11月13日（水） 午後1時～

○場 所 荘銀タクト鶴岡

○表彰者 県知事表彰・感謝状
社会福祉事業従事者等4名(表彰状)、
民生員・児童委員の配偶者7名(感謝状)
計11名

大会会長表彰

民生委員・児童委員功労者7名、一般社会福祉事業関係功労者4名、

社会福祉事業協助奉仕者 1 団体
計 11 名、1 団体
大会会長感謝状
社会福祉活動に協力援助した団体 2 団体

戦没者追悼式の開催

令和元年度酒田市戦没者追悼式

- 日 時 令和元年 7 月 3 日（水） 午前 10 時～
- 場 所 酒田市地域福祉センター 大会議室
- 参列者 150 名

9 年目のキャンドルナイト（東日本大震災追悼の集い事業）の開催

「9 年目のキャンドルナイト in 中町」は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止。

9 法人運営、施設管理

自主財源の確保

	社協会費				寄付金	合計
	個人会費	団体会費	特別会費	計		
R 1	28,672 世帯	48 団体	318 人	29,038 件	48 件	29,086 件
	14,336,000 円	160,000 円	477,000 円	14,973,000 円	1,594,671 円	16,567,671 円
H 30	28,790 世帯	43 団体	308 人	29,141 件	67 件	29,208 件
	14,393,200 円	150,000 円	462,000 円	15,005,200 円	2,125,077 円	17,130,277 円

施設管理

(1) 地域福祉センター

		H30 年度実績	R1 年度実績	比較 R1/H30
電 気	使用量 (kwh)	47,626	46,238	97.1%
	金額 (円)	1,339,987	1,319,814	
灯 油	使用量 (ℓ)	7,470	8,200	109.8%
	金額 (円)	690,377	767,880	
ガ ス	使用量 (m ³)	159.0	153.6	96.6%
	金額 (円)	78,354	73,505	
水 道	使用量 (m ³)	683.0	711.0	104.1%
	金額 (円)	409,451	427,812	

事業所安全衛生委員会

(1) 委員会開催概要

開催日	主 な 協 議 内 容
4月16日	・年間計画について
5月15日	・平成30年度健康診断結果について (産業医渡邊医師の見解)
6月20日	・熱中症対策と食中毒対策について (衛生管理者・保健師 川崎美穂氏)
7月18日	・交通事故発生状況からみる交通事故防止 (酒田警察署交通課交通安全係)
9月19日 9月26日	・心肺蘇生法・AEDについて (2回に分けて実施) (酒田地区広域行政組合消防本部による講習)
10月17日	・インフルエンザ対策について (衛生管理者・保健師 川崎美穂氏)
11月 6日	・健康診断結果について (産業医渡邊医師の講話)
12月19日	・ストレスチェックについて (心の健康、メンタルヘルスケア)
1月16日	・職場巡回 (やまゆり荘)
2月20日	・安全衛生委員会の年間実施項目に対するふりかえり

酒田市地域福祉センターと八幡やまゆり荘の管理・運営

(1) 酒田市地域福祉センター

区分 月	貸館利用数						1日 平均	開館日数
	有 料		無 料		合 計			
	件	人	件	人	件	人	人	日
4	0	0	68	1,291	68	1,291	43	30
5	0	0	91	1,428	91	1,428	46	31
6	0	0	83	1,424	83	1,424	48	30
7	0	0	74	1,166	74	1,166	38	31
8	0	0	75	1,008	75	1,008	33	31
9	0	0	85	1,232	85	1,232	41	30
10	0	0	127	1,068	127	1,068	34	31
11	0	0	81	1,114	81	1,114	37	30
12	0	0	73	1,184	73	1,184	42	28
1	0	0	62	845	62	845	30	28
2	0	0	83	1,109	83	1,109	38	29
3	0	0	82	1,090	82	1,090	35	31
合計	0	0	984	13,959	984	13,959	39	360
前年度合計	0	0	585	9,638	585	9,638	27	359

(2) 老人福祉センター「やまゆり荘」

月	区分	回 数	人 数
4		23	125
5		20	118
6		9	75
7		11	92
8		11	27
9		9	65
10		12	32
11		12	58
12		14	59
1		14	83
2		9	51
3		9	9
合計		153	794
前年度合計		95	809

酒田市福祉バス・日赤福祉バス運行状況

(1)酒田市福祉バス運行状況

運行日数	85 日	内訳	市 内	858 人 (24回)
運行回数	83 回		庄 内	502 人 (17回)
総利用人数	2,696 人		県 内	759 人 (27回)
			県 外	577 人 (15回)

月	種別	研修会	施設視察	学習会 交流会	送 迎	大会総会	レクリエーション	訓練 大会	園外保育	合 計
4									1	1
5	2									2
6	6				2				1	9
7	13			4		1				18
8	2			5		2				9
9	8				1				2	11
10	12			2		1				15
11	6			1	1	2				10
12	1				2					3
1					2					2
2					2				1	3
3										0
計		50	0	12	10	6	0	0	5	83
前年度計		23	23	2	42	10	0	0	13	113

(2)酒田市日赤福祉バス運行状況

運行日数	125 日	内訳	市 内	1,224 人 (54回)
運行回数	124 回		庄 内	478 人 (27回)
総利用人数	2,451 人		県 内	468 人 (27回)
			県 外	281 人 (16回)

月	種別	研修会	施設視察	学習会 交流会	送 迎	大会総会	レクリエーション	訓練 大会	園外保育	合 計
4				1	4					5
5	3				1	3			2	9
6	6				3	1			2	12
7	5			3	6	1			1	16
8	3			6	3	3				15
9	7		1	2	1	2			3	16
10	8		2	1	3	1			1	16
11	5			1	10					16
12	2				3				1	6
1				1	5					6
2	1				4				1	6
3									1	1
計		40	3	15	43	11	0	0	12	124
前年度計		7	20	7	71	18	0	0	14	137

(3) 令和元年度 団体別福祉バス・日赤福祉バス利用状況

単位：日

団 体 名	福祉バス		日赤福祉バス	
	利用日数	人数	利用日数	人数
老 人 ク ラ ブ	3	104	5	116
民生児童委員協議会連合会	0	0	9	158
母 子 寡 婦 福 祉 会	2	44	3	43
連 合 婦 人 会	1	29	0	0
ボランティア連絡協議会	1	24	1	15
遺 族 会	2	48	1	18
行 政	3	104	3	46
市 保 育 園	1	86	5	147
自治会連合会・各自治会	10	248	9	156
学区社協・コミュニティ振興会	32	1,041	30	552
学 童 保 育	11	423	7	165
保護司会・更生保護女性会	0	0	4	68
法 人 保 育 園	7	255	13	245
市 社 会 福 祉 協 議 会	1	38	21	517
ボランティア・サークル・団体	0	0	3	35
食生活改善推進委員会	1	33	2	35
障 がい 者 施 設 ・ 団 体	2	45	6	100
そ の 他	5	174	2	35
合 計	82	2,696	124	2,451
前 年 度 計	113	3,662	138	2,792

令和元年度分八幡やまゆり号利用状況

運行日数	95 日	内 訳	市内	1,019 人	62 回
運行回数	95 回		庄内	205 人	12 回
総利用人数	1,539 人		県内	173 人	13 回
			県外	142 人	8 回

(単位：日)

種別 月	研修会	施設視察	学習会 交流会	送迎	総会	合計
4月	3	0	0	6	2	11
5月	0	0	0	5	0	5
6月	5	0	0	7	0	12
7月	3	0	0	8	0	11
8月	3	0	0	3	0	6
9月	4	0	0	7	0	11
10月	8	0	0	3	0	11
11月	0	3	0	6	0	9
12月	0	0	0	6	0	6
1月	0	0	0	6	0	6
2月	0	0	0	6	0	6
3月	1	0	0	0	0	1
計	27	3	0	63	2	95

令和元年度 やまゆり号利用状況

団 体 名	日 数
ミニデイサービス	30
サロ ン	1
各 コ ミ セ ン 事 業	15
な の は な 畑	0
市 学 童 保 育 所	1
社会福祉協議会(支部・地区)	15
民生委員児童委員協議会	0
老 人 ク ラ ブ	4
ポ ラ ン テ ィ ア 団 体	0
障 害 者 関 係 団 体	10
婦 人 会 関 係	3
遺 族 会	3
そ の 他 の 福 祉 団 体 等	13
合 計	95

各支部の運営

(1) 八幡支部

①地区社会福祉協議会の活動

実施年月日	内 容	備 考
平成31年 4月 4日	* 一條地区社協総会	一條コミセン
4月 9日	* 大沢地区社協総会	大沢コミセン
4月16日	* 日向地区社協総会	日向コミセン
4月22日	* 観音寺地区社協総会	観音寺コミセン
令和 元年 6月 4日	* 社協八幡支部福祉推進員研修・説明会	八幡ｸﾞﾙｰﾌﾟ
6月12日	* 日向地区支え合い活動実行委員会	日向コミセン
6月28日	* ふれあい給食指導者講習会	平田ｸﾞﾙｰﾌﾟ
7月 1日	* 第1回八幡4地区地域ケア会議	八幡ｸﾞﾙｰﾌﾟ
8月 9日	* 日向地区支え合い活動実行委員会	日向コミセン
11月 4日	* 大沢地区社協合同研修会	大沢コミセン
11月18日	* 日向地区支え合い活動実行委員会	日向コミセン
令和 2年 1月10日	* 日向ささえあい除雪ボランティア (第1回)	日向地区 (中止)
1月16日	* 一條地区社協合同研修会	一條コミセン
2月 3日	* 第2回日向地区地域ケア会議	日向コミセン
2月 4日	* 第2回大沢地区地域ケア会議	大沢コミセン
2月 8日	* 日向ささえあい除雪ボランティア (第2回)	日向コミセン
2月10日	* 第2回一條地区地域ケア会議	一條コミセン
2月13日	* 第2回観音寺地区地域ケア会議	八幡総合支所
2月20日	* 観音寺コミ振福祉部・安全部・避難所運営協力員合同研修会	八幡総合支所
3月 3日	* サロン世話人代表者研修会(ｺﾏﾝﾄﾞのため中止)	やまゆり荘
3月16日	* 地域あんしん事業相談員意見交換会 * 日向地区支え合い活動実行委員会 (ｺﾏﾝﾄﾞのため中止)	やまゆり荘 日向地区
平成31年 4月から 令和 2年 3月まで	* 地域あんしん相談事業 毎月第2月曜日午後1時30分から午後3時まで 開設 相談件数：7件	観音寺コミセン

②地域福祉事業

実施年月日	内 容	備 考
令和 元年 9月11日	* ひとり暮らし高齢者（むつみ会） 視察研修会	鶴岡市 24名
12月18日	* ひとり暮らし高齢者（むつみ会） クリスマス交流会	八幡町センター 23名
令和 2年 2月 7日	* 第1回家族介護者談話室	鳥海山荘 12名
平成31年 4月	* 生きがい活動支援通所事業 （4/11、4/18、4/25）	酒田市 やまゆり荘 45名
令和 元年 5月	* 生きがい活動支援通所事業 （5/9、5/16、5/23）	やまゆり荘 41名
6月	* 生きがい活動支援通所事業 （6/6、6/13、6/27）	やまゆり荘 39名
7月	* 生きがい活動支援通所事業 （7/11、7/18、7/25）	やまゆり荘 40名
9月	* 生きがい活動支援通所事業 （9/12、9/19、9/26）	やまゆり荘 43名
10月	* 生きがい活動支援通所事業 （10/3、10/10、10/17）	にかほ市 37名
11月	* 生きがい活動支援通所事業 （11/7、11/14、11/21）	やまゆり荘 39名
12月	* 生きがい活動支援通所事業 （12/5、12/12、12/19）	やまゆり荘 39名
令和 2年 1月	* 生きがい活動支援通所事業 （1/9、1/16、1/23）	やまゆり荘 33名
2月	* 生きがい活動支援通所事業 （2/6、2/13、2/20）	やまゆり荘 36名
3月	* 生きがい活動支援通所事業 （コト拡大防止のため中止）	

③福祉関係団体事業

実施年月日	内 容	備 考
平成31年 4月 8日	* 八幡身障更生会会計監査	やまゆり荘
4月 8日	* 第1回八幡身障更生会役員会	やまゆり荘
4月24日	* 山形県千歳山霊苑拝礼式	山形市
4月23日	* 八幡身障更生会総会	やまゆり荘
4月26日	* 老人クラブ連合会八幡支部総会	やまゆり荘
令和 元年 5月13日	* 八幡遺族会第1回役員会	やまゆり荘
5月27日	* 八幡遺族会総会	やまゆり荘
6月21日	* 高齢者レクリエーション大会	八幡体育館
6月23日	* 酒田市身障スポーツ大会	酒田市体育館
7月 3日	* 酒田市戦没者追悼式	地域福祉センター
7月 4日	* 山形県遺族会壮年部長会議・研修会	天童ホテル
7月 9日	* 八幡身障更生会親睦レクリエーション大会	やまゆり荘
7月26日	* 山形県身体障がい者福祉大会	新庄市
8月24日	* 八幡戦没者慰霊祭	八幡亡利の山
8月31日	* 山形県身体障がい者スポーツ大会	県総合運動公園
10月 1日	* 第2回八幡身障更生会役員会	やまゆり荘
10月24日	* 山形県戦没者追悼式・山形県戦没者遺族大会	寒河江市
12月 2日	* 八幡手をつなぐ育成会研修会	観音寺コミセン
令和 2年 1月31日	* 八幡身障更生会新年を語る会	やまゆり荘

④共同募金運動&歳末たすけあい募金運動

実施年月日	内 容	備 考
令和 元年10月 1日	* 戸別募金、歳末たすけあい募金依頼 * 募金箱設置依頼 * 職域募金依頼	自治会長 コミセン等 総合支所等
11月19日	* 法人募金（一條地区、大沢地区）	15か所
11月20日	* 法人募金（観音寺地区、日向地区）	33か所
12月18日	* 歳末たすけあい激励金配布	八幡タウンセンター

(2) 松山支部

①地区社会福祉協議会の活動

実施年月日	内 容	備 考
平成31年 4月16日	* ふれあい給食調理ボランティア打合せ	健康福祉センター
4月23日	* 内郷地区社協総会・合同研修会(第1回)	内郷コミセン
4月25日	* 南部地区社協総会・合同研修会(第1回)	南部コミセン
令和元年 5月17日	* 松嶺地区社協総会・合同研修会(第1回)	松嶺コミセン
5月21日	* 山寺地区社協総会・合同研修会(第1回)	山寺コミセン
5月23日	* 第1回山寺・松嶺・内郷地区ふれあい給食事業	健康福祉センター
5月29日	* 第1回南部地区ふれあい給食事業	南部コミセン
6月 4日	* 山寺地区小地域ケア会議(第1回)	山寺コミセン
6月 6日	* 南部地区小地域ケア会議(第1回)	南部コミセン
6月 7日	* 社協松山支部福祉推進員研修・説明会	健康福祉センター
6月10日	* 内郷地区小地域ケア会議(第1回)	内郷コミセン
6月11日	* 松嶺地区小地域ケア会議(第1回)	松嶺コミセン
6月18日	* 第2回山寺・松嶺・内郷地区ふれあい給食事業	健康福祉センター
6月26日	* 第2回南部地区ふれあい給食事業	南部コミセン
6月28日	* ふれあい給食指導者講習会	ひらたタウンセンター
7月 9日	* 第3回山寺・松嶺・内郷地区ふれあい給食事業	健康福祉センター
8月27日	* ふれあい給食献立会議	健康福祉センター
9月25日	* 第3回南部ふれあい給食事業	南部コミセン
10月17日	* 第4回山寺・松嶺・内郷地区ふれあい給食事業	健康福祉センター
10月30日	* 第4回南部地区ふれあい給食事業	南部コミセン
11月19日	* 第5回山寺・松嶺・内郷地区ふれあい給食事業	健康福祉センター
11月29日	* 第5回南部地区ふれあい給食事業	南部コミセン
12月12日	* 山寺地区社協合同研修会(第2回)及び地域ケア会議	山寺コミセン
12月15日	* 第6回南部地区ふれあい給食事業	南部コミセン
12月17日	* 南部地区社協合同研修会(第2回)及び地域ケア会議	南部コミセン
12月19日	* 第6回山寺・松嶺・内郷地区ふれあい給食事業	健康福祉センター
12月20日	* 内郷地区社協合同研修会(第2回)及び地域ケア会議	内郷コミセン
令和2年 1月27日	* 松嶺地区社協合同研修会(第2回)及び地域ケア会議	松嶺コミセン
3月23日	* 松山防災訓練	健康福祉センター
平成31年 4月から	* 地域あんしん事業	健康福祉センター
令和2年 3月まで	第3水曜日午後1時30分から午後3時まで	

	開設 相談件数：4件	
--	------------	--

②地域福祉事業&福祉教育事業

実施年月日	内 容	備 考
令和元年 6月29日	* 松山健康フェア	城址館
7月 4日	* ひとり暮らし高齢者（ひまわり会）交流会 バス研修 20名	花王石鹸他
12月 9日	* ひとり暮らし高齢者（ひまわり会）交流会 クリスマス会 26名	松嶺コミセン
令和元年 5月から 令和2年 2月まで	* 松山いきいきクラブ(全10回) 第3水曜日午前10時から11時30分まで	健康福祉センター
平成31年4月から 令和2年 2月まで	* おとこカレーくらぶ（全11回） 第3月曜日午前10時から	健康福祉センター

③福祉関係団体事業

実施年月日	内 容	備 考
平成31年 4月17日	* 松山民児協総会	松嶺コミセン
4月26日	* 老人クラブ連合会松山支部総会	松嶺コミセン
令和元年 5月16日	* 松山身体障がい者更生会総会	松嶺コミセン
5月22日	* 庄内地区老人クラブ連合会総会	にこふる
5月23日	* 酒田市老人クラブ連合会総会	松嶺コミセン
5月31日	* 松山・平田手をつなぐ育成会視察研修・総会	鶴岡市
6月23日	* 身障酒田市スポーツ大会	
7月12日	* 老人クラブ連合会松山支部スポーツレクリエーション大会	里仁館体育館
7月26日	* 山形県身体障がい者福祉大会	新庄市
8月11日	* 松山・平田手をつなぐ育成会「この子らと 遊ぼうよ」事業	真室川町
8月30日	* 山形県老人福祉大会	村山市
8月31日	* 山形県身体障がい者レクリエーション大会	天童市
9月 8日	* 山形県知的障がい者福祉大会	寒河江市
10月28日	* 老人クラブ連合会松山支部スポーツレクリエーション大会	里仁館体育館
11月～2月	* 松山身体障がい者福祉会サロン（全4回）	松嶺コミセン
令和2年 2月15日	* 広報「まつかさ」発行	でん六蔵王の森工場
3月25日	* 松山・平田手をつなぐ育成会役員研修会	松嶺コミセン

④共同募金運動&歳末たすけあい募金運動

実施年月日	内 容	備 考
令和元年 10月 1日 ～ 12月31日	* 戸別募金、歳末たすけあい募金依頼 * 募金箱設置依頼 * 職域募金依頼 * 法人募金	自治会長 コミセン等 総合支所 20か所

(3) 平田支部

①地区社会福祉協議会の活動

実施年月日	内 容	備 考
令和元年 6月 5日	* 社協平田支部福祉推進員研修・説明会	農村センター
6月28日	* ふれあい給食指導者講習会	ひらたのセンター
7月10日	* 砂越・砂越緑町地区社協合同研修会	砂・緑コミセン
7月17日	* 田沢地区社協合同研修会	田沢コミセン
7月23日	* 南平田地区第1回小地域ケア会議	南平田コミセン
8月 1日	* 郡境・山谷地区第1回小地域ケア会議	郡・山コミセン
8月 6日	* 砂越・砂越緑町地区第1回小地域ケア会議	砂・緑コミセン
8月 7日	* 東陽地区第1回小地域ケア会議	寿康園会議室
8月27日	* 福祉協力員研修会	ひらたのセンター
9月 3日	* 平田地区社協連絡会	ひらたのセンター
令和2年 2月 4日	* 郡鏡・山谷地区第2回小地域ケア会議	郡・山コミセン
2月13日	* 東陽地区第2回小地域ケア会議	ひらた生涯学習C
2月14日	* 南平田地区第2回小地域ケア会議	南平田コミセン
2月18日	* 砂越・砂越緑町地区第2回小地域ケア会議	砂・緑コミセン
2月20日	* 田沢地区第2回小地域ケア会議	田沢コミセン
平成31年4月 ～令和2年3月	* 地域あんしん相談事業 毎月10日頃9時～12時(10月と12月 は9時～15時) 開設 相談計5件	ひらたのセンター

②地域福祉事業&福祉教育事業

実施年月日	内 容	備 考
平成31年 4月19日	* なごみ会花見 (一人暮らし高齢者交流事業) 33名	鶴岡
令和元年 8月14日	* ひらた目ん玉まつり参加 募金活動(中学生ボランティアサークルSUN・高校生ボランティアサークル Enjoy)	ひらたのセンター

11月 3日	time!参加) * ひらたボランティアまつり (ボラ連と共催) ・チャリティバザー ・災害時炊き出し実演会 ・心肺蘇生法体験 ・ボランティア体験 (要約筆記) ・赤い羽根共同募金活動 (中学生ボランティアサークルSUN参加)	ひらたタウンセンター
11月14日	* ひらた社会福祉のつどい 講演「健康で介護要らずの生活を」約130名	ひらたタウンセンター シアター OZ
12月20日	* なごみ会クリスマス会 (一人暮らし高齢者交流事業) 32名	ひらたタウンセンター
平成31年4月 ～令和2年3月	* 一人暮らし高齢者世帯等への包括ひらたとの合同訪問 延31世帯訪問	

③福祉関係団体事業

実施年月日	内 容	備 考
平成31年 4月19日	* 平田遺族会理事会・総会	ひらたタウンセンター
4月22日	* 老人クラブ女性部総会	ひらたタウンセンター
4月24日	* 平田身体障害者福祉協会総会	ひらたタウンセンター
4月26日	* 老人クラブ連合会平田支部総会	農村センター
令和元年 5月22日	* 庄内地方市町村老人クラブ連絡協議会総会	
6月 9日	* 平田ボランティア連絡協議会総会	ひらたタウンセンター
6月14日	* 老人クラブはつらつ室内ペタンク交流大会	海洋センター
6月23日	* 酒田市障がい者スポーツ大会	市体育館
7月 3日	* 酒田市戦没者追悼式	地域福祉センター
7月11日	* 老人クラブグラウンドゴルフ大会	高畑グラウンド
7月22日	* 老人クラブ女性部研修会	ひらたタウンセンター
7月26日	* 山形県身体障がい者福祉大会	新庄市
8月30日	* 山形県老人福祉大会	村山市
8月30・31日	* 老人クラブ役員一泊研修	東根市
8月31日	* 山形県障がい者レクリエーション大会	天童市
9月12日	* 老人クラブ若手委員会スポーツ吹矢大会	海洋センター
9月20日	* 老人クラブ女性部会研修	月山ダム他
10月 7日	* 庄内身障女性のつどい	鶴岡市
10月18日	* 老人クラブいきいき老人レクリエーション大会	海洋センター

	10月24日	* 山形県戦没者追悼式・遺族大会	寒河江市
	11月16日	* 庄内地区障がい者レクリエーションの集い	鶴岡市
	11月27日	* 老人クラブ公式ワナゲ大会	海洋センター
	12月13日	* 老人クラブ若手委員会グラウンドゴルフ大会	平田体育館
令和2年	2月27日	* 老人クラブ相互支援のつどい	農村センター
	3月6日	* 身障協会員研修	鶴岡市
令和元年	5月～12月	* 身障協あいあいサロン（4回）	ひらたタウンセンター他

④共同募金運動&歳末たすけあい募金運動

実施年月日	内 容	備 考
令和元年 10月 1日 ～ 12月31日	* 戸別募金、歳末たすけあい募金依頼 * 募金箱設置依頼 * 職域募金依頼 * 法人募金	自治会長 コミセン等 総合支所等 29か所

市社協機関会議等の開催

(1) 正副会長会議

① 第1回正副会長会議（令和元年5月13日）

協議案件

1. 5月24日（金）開催予定の酒田市社会福祉協議会理事会提出議題について
2. 6月18日（火）開催予定の酒田市社会福祉協議会評議員会提出議題について
3. 山形県共同募金会酒田市共同募金委員会運営委員会（5/24）・審査委員会（6/18）提出議題について
4. その他

② 第2回正副会長会議（令和元年12月5日）

協議案件

1. 12月16日（月）開催予定の酒田市社会福祉協議会理事会提出議題について
2. 12月25日（水）開催予定の酒田市社会福祉協議会評議員会提出議題について
3. 山形県共同募金会酒田市共同募金委員会運営委員会（12/16）提出議題について
4. その他

③ 第3回正副会長会議（令和2年3月2日）

協議案件

1. 3月11日（水）開催予定の酒田市社会福祉協議会理事会提出議題について
2. 3月23日（月）開催予定の酒田市社会福祉協議会評議員会提出議題について
3. 山形県共同募金会酒田市共同募金委員会（3/11）・審査委員会（3/23）提出議題について
4. その他

(2) 理事会

① 第1回理事会（令和元年5月24日）

議事

第1号議案 令和元年度酒田市社会福祉協議会資金収支補正予算について

第2号議案 平成30年度酒田市社会福祉協議会事業報告について

第3号議案 平成30年度酒田市社会福祉協議会資金収支決算について

= 監査報告 =

第4号議案 酒田市社会福祉協議会評議員の補充選任候補者の推薦について

第5号議案 酒田市社会福祉協議会理事及び監事の選任候補者の推薦について

第6号議案 酒田市社会福祉協議会令和元年度第1回評議員会の招集について

② 第2回理事会（令和元年6月18日）

議 事

第1号議案 社会福祉法人酒田市社会福祉協議会会長の選定について

第2号議案 社会福祉法人酒田市社会福祉協議会副会長の選定について

第3号議案 社会福祉法人酒田市社会福祉協議会常務理事の選任について

第4号議案 社会福祉法人酒田市社会福祉協議会部会員の選定について

第5号議案 社会福祉法人酒田市社会福祉協議会苦情解決責任者の任命について

第6号議案 社会福祉法人酒田市社会福祉協議会苦情解決第三者委員の選任について

第7号議案 社会福祉法人酒田市社会福祉協議会評議員選任・解任委員の選任について

③ 第3回理事会（令和元年12月16日）

議 事

第1号議案 酒田市社会福祉協議会定款の一部変更について

第2号議案 酒田市社会福祉協議会職員給与規程の一部改正について

第3号議案 酒田市社会福祉協議会評議員の補充選任候補者の推薦について

第4号議案 酒田市社会福祉協議会令和元年度第2回評議員会の招集について

④ 第4回理事会（令和2年3月11日）

議 事

第1号議案 令和元年度酒田市社会福祉協議会資金収支補正予算書（第2号）について

第2号議案 令和2年度酒田市社会福祉協議会事業計画について

- 第3号議案 令和2年度酒田市社会福祉協議会資金収支予算について
第4号議案 酒田市社会福祉協議会令和元年度第3回評議員会の招集について

(3) 評議員会

① 第1回評議員会 (令和元年6月18日)

議事

- 第1号議案 令和元年度酒田市社会福祉協議会資金補正予算について
第2号議案 平成30年度酒田市社会福祉協議会事業報告について
第3号議案 平成30年度酒田市社会福祉協議会資金収支決算について
= 監査報告 =
第4号議案 酒田市社会福祉協議会理事及び監事の選任について

② 第2回評議員会 (令和元年12月25日)

議事

- 第1号議案 酒田市社会福祉協議会定款の一部変更について
第2号議案 酒田市社会福祉協議会職員給与規程の一部改正について

③ 第3回評議員会 (令和2年3月23日)

議事

- 第1号議案 令和元年度酒田市社会福祉協議会資金収支補正予算(第2号)について
第2号議案 令和2年度酒田市社会福祉協議会事業計画について
第3号議案 令和2年度酒田市社会福祉協議会資金収支予算について

(4) 専門部会

① 総務財政部会

第1回総務財政部会

日時 令和2年12月2日(月)午前10時

場所 酒田市地域福祉センター

内容 ○ 社会福祉法人酒田市社会福祉協議会定款の一部変更(案)について

○ 職員給与規程の一部改正(案)について

第2回総務財政部会

日時 令和2年2月26日(水)午前10時

場所 酒田市地域福祉センター

内容 令和元年度社会福祉法人酒田市社会福祉協議会資金収支補正予算(第2号)(案)について

令和2年度酒田市社会福祉協議会事業計画(案)について

令和2年度酒田市社会福祉協議会資金収支予算（案）について

② 地域福祉・ボランティア部会

第1回地域福祉・ボランティア部会

日 時 令和元年12月3日（火）午前10時

場 所 酒田市地域福祉センター

内 容 ○ 地域福祉事業及びボランティア事業の進捗状況について
○ 台風19号被災地支援の対応について

第2回地域福祉・ボランティア部会

日 時 令和2年2月27日（木）午後1時30分

場 所 酒田市地域福祉センター

内 容 ○ 令和2年度地域福祉課所管事業計画（案）について

③ 介護保険部会

第1回介護保険部会

日 時 令和元年11月22日（金）午前10時

場 所 酒田市地域福祉センター

内 容 ○ 令和2年度介護サービス課の事業について
○ その他

第2回介護保険部会

日 時 令和2年2月27日（木）午前10時

場 所 酒田市地域福祉センター

内 容 ○ 介護サービス課の事業計画について

④ 共同募金部会

第1回共同募金部会

日 時 令和元年9月20日（金）午後1時30分

場 所 酒田市地域福祉センター

内 容 ○ 令和元年度共同募金助成について
○ 令和元年度共同募金・歳末たすけあい募金目標について
○ 令和元年度共同募金運動の日程について

第2回共同募金部会

日 時 令和元年12月3日（火）午後1時30分

場 所 酒田市地域福祉センター

内 容 ○ 令和元年度歳末たすけあい激励金助成計画（案）について
○ 歳末たすけあい募金の戸別募金額統一について

第3回共同募金部会

日 時 令和2年2月26日(水)午後1時30分

場 所 酒田市地域福祉センター

- 内 容 ○ 令和2年度山形県共同募金会酒田市共同募金委員会収支補正
予算(第1号)(案)について
- 令和2年度山形県共同募金会酒田市共同募金委員会事業計画
(案)について
- 令和2年度山形県共同募金会酒田市共同募金委員会資金収支
予算書(案)について
- 令和2年度山形県共同募金会酒田市共同募金委員会助成計画)
について

(5) 監査

日 時 令和元年5月9日(木)午前10時

場 所 酒田市地域福祉センター 2階 中会議室

- 内 容 ○ 平成30年度の事業報告書、貸借対照表、財産目録、一般会計
資金収支決算書等の監査

(6) 各種研修会等

① 自治会長研修・説明会

日 時 令和元年5月29日(水)午前10時

場 所 酒田市地域福祉センター

- 内 容 ○ 赤十字活動について
- 酒田市社会福祉協議会の事業概要及び日赤酒田市地区事業
概要について
- ・ 社協会費と日赤会費納入のお願い
- 共同募金・歳末たすけあい募金の事業概要について
- ・ 共同募金のお願い

② コミュニティ振興会長並びに事務担当者研修・説明会

日 時 令和元年5月28日(火)午前10時

場 所 酒田市地域福祉センター

- 内 容 ○ 酒田市社会福祉協議会の事業概要及び日赤酒田市地区事業
概要について
- ・ 社協会費と日赤会費納入のお願い
- 共同募金・歳末たすけあい募金の事業概要について
- ・ 共同募金のお願い

③ 八幡支部福祉推進員研修・説明会

日 時 令和元年6月4日(火)午後2時

- 場 所 酒田市やわたタウンセンター
- 内 容 ○ 酒田市社会福祉協議会の事業概要及び日赤酒田市地区事業概要について
- ・ 社協会費と日赤会費納入のお願い
- 共同募金・歳末たすけあい募金の事業概要について
- ・ 共同募金のお願い
- ④ 松山支部福祉推進員研修・説明会
- 日 時 令和元年6月7日（金）午後2時
- 場 所 酒田市松山健康福祉センター
- 内 容 ○ 酒田市社会福祉協議会の事業概要及び日赤酒田市地区事業概要について
- ・ 社協会費と日赤会費納入のお願い
- 共同募金・歳末たすけあい募金の事業概要について
- ・ 共同募金のお願い
- ⑤ 平田支部福祉推進員研修・説明会
- 日 時 令和元年6月5日（水）午後2時
- 場 所 平田農村環境改善センター
- 内 容 ○ 赤十字活動について
- 酒田市社会福祉協議会の事業概要及び日赤酒田市地区事業概要について
- ・ 社協会費と日赤会費納入のお願い
- 共同募金・歳末たすけあい募金の事業概要について
- ・ 共同募金のお願い
- ⑥ （自治連）新自治会長研修会
- 日 時 令和元年6月24日（月）午後1時30分
- 場 所 酒田市地域福祉センター
- 内 容 ○ 自治会の今について
- 酒田市社会福祉協議会の概要について
- ⑦ 名学区・地区社協代表者会議（説明会）
- 日 時 令和2年3月5日（木）午前11時
- 場 所 酒田市地域福祉センター
- 内 容 ○ 「新・草の根事業」に係る手続き関係
- 新・草の根事業補助金交付要綱の改正について
- 事業報告、決算報告及び補助金申請手続きについて
- 見守りネットワーク対象者名簿の登録・変更、福祉協力員の

変更手続きについて

- 新・草の根事業の見直し状況について
- 新型コロナウイルス感染にかかる本会としての対応方針

⑧ 第2回 酒田市社会福祉法人連絡会議

日 時 令和元年6月26日(水) 午後1時30分

場 所 酒田市地域福祉センター

内 容 講演

『県内他市での「地域における公益的な取組」の取組状況等について』

講師 山形県社会福祉協議会 地域福祉部 副部長 村山紀子氏

議題

- (1)【意見交換】情報提供、各法人の「地域における公益的な取組」の共有等について
- (2)【事務局報告】学区・地区社協「地域における公益的な取組」アンケート結果について
- (3)【事務局提案・協議】「酒田のふくし出前講座・ふくし教(共)育講座(案)」について